

平成 2 3 年度

# 通常総会資料

社団法人日本経営工学会

# 社団法人日本経営工学会

## 平成23年度通常総会次第

1. 開会の辞
2. 出席者数報告
3. 議長の選任
4. 議事録署名人の指名
5. 会長挨拶
6. 報告事項
  - 1) 平成22年度事業報告、決算報告及び  
平成22年度学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告
  - 2) 監査報告
  - 3) その他
7. 審議事項

第一号議案	平成22年度事業報告及び収支決算の件
第二号議案	平成23年度事業計画及び収支予算の件
第三号議案	名誉会員推戴の件
第四号議案	新役員選任の件
第五号議案	会費滞納者権利停止・除名予告の件
第六号議案	その他
8. 閉会の辞

議案終了後、各賞の授賞式を執り行う

開催日：平成23年5月28日（土）10：00～12：00

会場：愛知学院大学 日進キャンパス 12号館（G106教室）

# 第一号議案 平成 22 年度事業報告、収支決算報告及び各賞受賞報告

## 平成 22 年度事業報告

### I. 事業の状況

#### (1) 研究発表会、学術講演会、報告会等の開催（定款 5 条 1 号）

##### 1) 平成 22 年度春季大会

平成 22 年 5 月 15 日（土）～16 日（日）

於：日本大学

大会実行委員長：大場 允晶（日本大学）

テーマ「科学的管理の分水嶺」

##### 2) 平成 22 年度秋季研究大会

平成 22 年 10 月 23 日（土）～24 日（日）

於：福岡工業大学

テーマ「グローバル化時代に於ける地方から挑戦する人づくりものづくり環境づくりの経営工学」

大会組織委員長：赤木 文男（福岡工業大学）

#### (2) 会誌その他の図書刊行（定款 5 条 2 号）

○日本経営工学会論文誌（Journal of Japan Industrial management Association）

Vol.61, No.1～No.6, No.3E, No.6E を発行した。

発行年月	巻 号	発行部数
------	-----	------

平成 22 年 4 月 15 日	61 1	1,800
------------------	------	-------

平成 22 年 6 月 15 日	61 2	1,800
------------------	------	-------

平成 22 年 8 月 15 日	61 3, 3E	1,800
------------------	----------	-------

平成 22 年 10 月 15 日	61 4	1,800
-------------------	------	-------

平成 22 年 12 月 15 日	61 5	1,800
-------------------	------	-------

平成 23 年 2 月 15 日	61 6, 6E	1,800
------------------	----------	-------

全般論文 0 件、技術論文 8 件、提案論文 0 件、事例研究 0 件、原著論文（理論・技術）13 件、原著論文（事例研究）4 件を収録した。

○経営システム（Communications of JIMA）

Vol.20, No.1～6 を発行した。

発行年月	巻 号	発行部数
------	-----	------

平成 22 年 4 月 15 日	20 1	2,100
------------------	------	-------

平成 22 年 6 月 15 日	20 2	2,100
------------------	------	-------

平成 22 年 8 月 15 日	20 3	2,100
------------------	------	-------

平成 22 年 10 月 15 日	20 4	2,100
-------------------	------	-------

平成 22 年 12 月 15 日	20 5	2,100
-------------------	------	-------

平成 23 年 2 月 15 日	20 6	2,100
------------------	------	-------

#### (3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 5 条 3 号）

平成 22 年度 学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告

##### ○学会賞（学術）

該当者なし

##### ○学会賞（功労）

該当者なし

##### ○論文賞

原嶋茂（株式会社デンソー）、大野勝久（愛知工業大学）

対象論文：デンソーで開発・実用化された柔軟な生産

システムの再形態変化可能性, Vol.60, No.6, pp.306-317

##### 推薦理由

経営環境の変化は、生産システムに生産量の変動に対応できる柔軟性を要求する。本論文は、生産量変動対応生産システムの柔軟性の評価方法に関するものである。

具体的には、まずデンソーにおける生産量変動対応生産システムがどのように形態的变化をおこしてきたかを概観したのち、それらを経済的に評価する関数、ライフサイクルコスト（LCC: Life Cycle Cost）を提案している。LCC は、4 種の生産シナリオが仮定され、それぞれの設備償却費、生産量、労務費および間材経費、そして割引率を考慮した、生産システムの長期的なトータルコストである。生産システムの柔軟性は、一括投資額あたりの LCC で評価することができ、その妥当性はデンソーの実際の生産システムを対象としたシミュレーションによって検証されている。さらに、LCC を用いた比較可能な柔軟性評価指標として、再形態変化可能性を提案している。これにより生産システムの柔軟性を、仮想トランスファーラインを基準にして定量比較することが可能になる。

本研究は、生産システムの柔軟性を経済的側面から評価する方法を新たに提案しており、学術的な側面からの貢献のみならず、実務的な問題への応用も十分に期待できる。以上のことにより、本論文を本学会表彰規則に定める論文賞に値するものと評価し、ここに推薦する。

##### ○論文奨励賞

広谷大助、森川克己、高橋勝彦（広島大学）

対象論文：ボトルネック区間が存在する自己バランスラインの解析, Vol.61, No.1, pp.1-10

##### 推薦理由

ライン生産の生産効率を考える上で、各工程の作業負荷のバランス、すなわち、ラインバランスは、極めて重要な管理ポイントとなる。このような中で、本論文では、各工程に割り当てられた作業の負荷量を、作業者が動的に調整する機能を持たせた自己バランスラインを取り上げ、このバランスが自律的に収束する条件について解析を行っている。

自己バランスラインの先行研究としては、Bartholdi 等の研究等が挙げられるが、本論文では、その内容を拡張し、生産ライン内にボトルネック区間が存在する状況を考慮している。更に、作業者が工程内を移動して作業するとしたもとで、各工程作業者が作業開始位置に戻るまでの時間を考慮した場合と、考慮しない場合を想定している。このような条件下で、自己バランスするための収束条件を数理的に導き出し、数値的なシミュレーションを通じて検証と考察を加えている。

この論文の中で述べられている内容は、実務での有効な基本的知見となるばかりでなく、学術的にも、今後の様々な展開や応用が期待できる。以上のような理由から、この論文は平成 22 年度論文奨励賞として相応しいものと考え、ここに推薦する。

## ○特別賞 経営システム賞

豊田 丈輔 (住友林業情報システム)

対象業績：住宅プレカットの材料取り合わせ問題，経営システム誌，Vol.20, No.6, pp.140-144

### 推薦理由

伝統的な軸組工法によって、戸建て住宅を建設した場合に建設費の5%~15%を占めると言われる木材費用を削減すべく、プレカットでの材料割付けをメタヒューリスティックによって最適化を試みた。著者はGAを含むいくつかのアルゴリズムを実際の戸建て住宅を想定した問題に適用し、処理時間や解の安定性の観点から、提案したアルゴリズムが優れていることを示した。

本論文は伝統的な分野にメタヒューリスティックによる最適化を適用した点に加え、実践の結果が木材の効率的利用という環境保全にもつながる点で、実務的なインパクトを有すると考えられる。以上の理由から、経営システム賞にふさわしい論文と判断し、ここに推薦する。

## ○特別賞 経営工学実践賞

1) 豊田 丈輔 (住友林業情報システム株式会社)

対象業績：

- ・材料取り合わせにおける歩留り最適化のアプローチ，平成21年度秋季研究大会予稿集，pp.226-227
- ・戸建注文住宅建築における生産管理システム~ケイタイの活用を中止に~，経営システム誌，Vol.17, No.1, pp.68-72
- ・実践教育プログラムの事例（第1回、2回），経営システム誌，Vol.19, No.1, pp.85-90, Vol.19, No.2, pp.32-37

### 推薦理由

1976年3月京都大学大学院理工学研究科修士課程数理工学専攻を修了後、住友金属工業(株)に入社され、鹿島製鉄所の生産管理システムでは倉庫製品置場最適配置プログラムや製鉄所内全設備の履歴管理データベースの開発に従事された。これらは、「鉄鋼のIE」などで公表されている。また、工場内無人搬送システムを始めとする生産ラインの各種無人化、人員配置の最適化、省力化を進める一方、ホワイトカラーの生産性向上(間接工数、会議、書類それぞれ30%削減)を目的とした方針管理システムの導入や会議体の整理、業務フロー改善、ペーパーレス化にも取り組み目標を達成された。

1988年1月に住友林業(株)に入社され、住宅部門を中心とする全社のシステムを一新された。特に、1990年代に既にWeb技術を使った顧客管理システムを構築、また2000年に入ってからインターネットによる取引先ネットワークとケイタイを使った戸建て住宅の生産管理システムを構築された。情報システム部長に就任された2003年には、IT投資管理のフレームワークを確立し、各種の講演会で講演。2005年から執行役員に就任され、住友林業グループのCIOとしてIT戦略を主導。現在は、情報子会社の社長として経営に携わる一方で、

企業におけるIT戦略のあり方や人材育成に取り組み、講演も実施されている。2006年4月からは、大阪府立大学大学院経済研究科後期博士課程に在籍し、組み合わせ問題をテーマに研究を進め、住宅プレカットを事例とした材料取り合わせ問題を中心に学術論文や国際学会を含む各種学会で発表、多くの特許を取得された。これにより、2009年3月に博士(経済学)の学位を取得。また、2007年度から2年間、JIMA企画委員会の委員として特にIE実践教育についての検討に加わり、その内容が経営システム誌に掲載されている。以上の業績は、経営工学実践賞にふさわしいと判断し、ここに推薦する。

2) 高橋 邦芳 (アsproバ株式会社)

対象業績：

- ・製造業の利益増大を目標とする生産スケジューラーAsprova APSの設計思想，平成20年度春季研究大会
- ・Asprovaの実演-見える化、リードタイム短縮、在庫削減の実現-，平成20年度春季研究大会
- ・サプライチェーンの可視化・リードタイム短縮を実現するソフトウェアAsprova SCM，平成22年度秋季研究大会

### 推薦理由

高橋邦芳氏は、1994年に生産スケジューラーの開発・販売会社を設立し、生産スケジューラーAsprovaを開発した。Asprovaは、これまでに海外を含む世界1200サイト以上に導入され、生産企業の業務改善、利益向上に貢献している。近年では、ERPとの連携、SCM機能の充実により、生産企業の中核ソフトウェアに育っている。高橋氏が独自に開発した生産スケジューラーは、世界の生産企業から高い評価を獲得し継続的に利用されており、経営工学の実践として申し分のない業績といえる。また、日本経営工学会平成23年度春季大会に向けて、企業との連携によるオーガナイズドセッションを企画中など、今後の学会活動への貢献も期待できる。

また、関連業績として、高橋氏が開発した生産スケジューラーは、国内外から高い評価を得ており、これまでに「Japan Venture Awards 2007 起業家部門 奨励賞」(創業・ベンチャー国民フォーラム：経済産業省・中小企業庁委託事業)、Official CIM 2000 Awards - Best Manufacturing Management System Product - Highly Commended (イギリス)、2009年度中国商用軟件評選(Annual Top-lists of Business Software in China、2009) SCM分野、などを受賞している。さらに、生産管理やカイゼン手法に関する多言語コミュニケーションサイトの運営など、生産管理技術の普及にも貢献している。

○特別賞 優秀学生賞

氏名	大学名	学部学科名
井出貴也	青山学院大学	理工学部 経営システム工学科
中嶋秀幸	秋田県立大学	システム科学技術学部 経営システム工学科
加藤喜之	足利工業大学	工学部 システム情報工学科
三根 孝	大阪工業大学	工学部技術 マネジメント学科
重吉宏紀	大阪府立大学	工学部 知能情報工学科
藤原裕也	岡山大学	工学部 システム工学科
押切卓真	神奈川大学	工学部情報システム 創成学科
田村一樹	金沢工業大学	情報学部 情報経営学科
妹尾孝則	近畿大学	工学部情報システム 工学科
石川真之	九州東海大学	応用情報学部情報 マネジメント学科
矢ノ目亮	慶応義塾大学	理工学部管理工学科
山口真由子	成蹊大学	理工学部情報科学科
榎戸義浩		理工学部エレクトロメ カニクス学科
芦田 敬	摂南大学	工学部マネジメント システム工学科
千葉愛巳	玉川大学	工学部マネジメント サイエンス学科
河又優作	千葉工業大学	社会システム科学部 プロジェクト マネジメント学科
土橋正弥		社会システム科学部情 報科学科
田中景悟	電気通信大学	電気通信学部 システム工学科
石川希人	東海大学	情報通信学部 経営システム工学科
大塚高規	東京工業大学	工学部 経営システム工学科
高橋 雄大河	首都大学東京	システムデザイン 学部経営システム デザインコース
柘植 隼	東京理科大学	理工学部経営工学科
大栗真美	長崎総合科学 大学	情報学部 経営情報学科
濱田和弥	名古屋 工業大学	第一部都市社会工学 科経営システム系 プログラム
矢澤龍一	日本大学	生産工学部 マネジメント工学科

秋月信孝	広島工業大学	情報学部知的情報 システム学科
高木菜美	福岡工業大学	情報工学部システム マネジメント学科
小坂和哉	法政大学	工学部経営工学科
南翔太郎	東京都市大学	知識工学部 経営システム工学科
森久美子		環境情報学部 環境情報学科
佃 康司	早稲田大学	創造理工学部 経営システム工学科

以上 31 名

(4) 調査、研究、見学及び視察 (定款 5 条 4 号)

支部及び研究部会を通して以下の通り活動した。

支部活動

1. 北海道支部

－北海道

支部長：藤田勝康 (北海道工業大学)

監 事：三上行生 (北海道工業大学)

奥田和重 (小樽商科大学)

事務局：〒006-8585

札幌市手稲区前田 7-15-4-1

北海道工業大学未来デザイン学部人間社会学科内

事務局担当者名 藤田勝康

TEL：011-688-2303

FAX：011-681-3622

E-mail：fujita@hit.ac.jp

① 支部総会

日時：平成 22 年 6 月(持ち回り)

1) 総会

平成 21 年度支部事業報告

平成 21 年度支部決算報告

平成 22 年度支部事業計画

平成 22 年度支部予算案

2) その他

② 経営工学定例セミナー

日 時：平成 22 年 12 月 19 日 13:00～

会 場：TKP 札幌ビジネスセンター 8 階

講 演：「コミュニケーションと信頼関係」

(Expectation is the mother of disappointment)

米国(日系)自動車部品メーカーにおける海外勤務 6

年の経験から

講演者：小林正広氏 (あさま技研工業(株) 生産技術部 主幹)

③ 支部所属会員数 (平成 23 年 3 月末)

正会員数 16 名、名誉会員数 0 名、

学生会員数 0 名、賛助会員数 0 社

2. 東北支部

－青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島

支部長：菅原光政（岩手県立大学）  
副支部長：小嶋高良（八戸工業大学）  
監 事：横山雅夫（福島大学）  
堀川三好（岩手県立大学）  
事務局：〒020-0193  
岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-52  
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部内  
事務局担当者名 竹野健夫  
TEL：019-694-2646  
FAX：019-694-2501  
E-mail：take@iwate-pu.ac.jp  
<http://www.sd.soft.iwate-pu.ac.jp/~jima/>

- ① 平成22年度支部総会  
日時：平成22年6月26日（土）13：30～14：30  
会場：福島ビューホテル2階「しゃくなげ」の間  
出席者：9名（うち委任状2名）
- 1) 議題  
(1) 平成21年度事業報告及び収支報告  
(2) 平成21年度収支決算報告及び監査報告  
(3) 平成22年度事業計画案  
(4) 平成22年度支部予算案  
(5) その他
- 2) 特別講演  
日時：平成22年6月26日（土）14:45～16:15  
会場：福島ビューホテル2階「しゃくなげ」の間  
題 名：農産物におけるサプライチェーンマネジメント  
講 師：星野珙二（福島大学教授）  
参加者：7名
- ② 運営委員会（支部役員会・幹事会）
- 1) 第1回  
日時：平成22年6月26日（土）13：30～14：30  
会場：福島ビューホテル2階「しゃくなげ」の間  
出席者：9名（うち委任状2名）
- 2) 第2回  
日時：平成23年3月11日（金）16：40～17：00  
会場：東北工業大学一番町ロビーホール  
※直前に東北関東大震災発生のため、メールでの議論とした。
- ③ 平成21年度修論・卒論論文発表会  
日時：平成23年3月11日（金）13：00～16：40  
会場：東北工業大学一番町ロビーホール  
予定発表件数：10件  
参加者：18名  
※6件目の発表中に東北関東大震災発生。継続は困難と判断し、そこで終了とした。
- ④ 支部所属会員数（平成23年3月末）  
正会員数 40名、学生会員数 7名、  
賛助会員 1社

### 3. 北関東支部

一埼玉、栃木、群馬  
支部長：塚越 清（足利工業大学）  
副支部長：関 庸一（群馬大学）  
辻村 泰寛（日本工業大学）  
川中子 敬至（足利工業大学）  
佐々木 正仁（足利工業大学）  
事務局：佐々木 正仁（足利工業大学）  
足利工業大学システム情報工学科内  
〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1  
TEL：0284-22-5698  
FAX：0284-64-1071  
E-mail：sasaki@ashitech.ac.jp  
<http://www.jiminet.jp/office/branch/kita-kanto/index.htm>

- ① 支部総会  
日時：平成23年3月6日（土）12：30～  
会場：足利工業大学 多目的ホール  
出席者：34名 委任状：11名 定足数：24名  
議題：  
平成21年度決算報告および監査報告  
平成22年度支部事業報告および収支報告  
平成23年度支部事業計画および支部予算案  
平成23年度支部役員改選について  
その他
- ② 経営工学定例セミナー  
日時：平成23年3月6日（土）13:10～14:10  
会場：足利工業大学 多目的ホール  
題目：IT業界の展望と求めている人材について  
講師：神奈川大学キャリアアドバイザー 富田和夫氏  
参加者：34名
- ③ 卒業論文発表会  
日時：平成23年3月6日（土）14:20～16:30  
会場：足利工業大学 多目的ホール  
発表件数 8件、参加者32名  
懇親会：足利工業大学 多目的ホール  
参加者：31名
- ④ 運営委員会
- (1) 第1回  
日時：平成22年12月4日（土）12：30～13：00  
会場：足利工業大学 多目的ホール  
出席者：9名
- (2) 第2回  
日時：平成23年3月6日（土）12：00～12：30  
会場：足利工業大学 多目的ホール  
出席者：11名
- ⑤ 支部会員状況（平成23年3月末）  
正会員数 88名、学生会員数 13名、  
賛助会員 0社

#### 4. 東関東支部

－千葉、茨城

支部長：片山 直登（流通経済大学）

副支部長：篠田 心治（東京理科大学）

堀内 俊幸（千葉工業大学）

監 事：堀江 良典（日本大学）

百合本 茂（流通経済大学）

事務局：〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1

日本大学 生産工学部

マネジメント工学科内

事務局担当者名 飯沼 守彦

TEL：047-474-2604

FAX：047-474-2619

E-mail：iinuma.morihiko@nihon-u.ac.jp

<http://www.jiminet.jp/office/branch/higashi-kanto/index.html>

##### ① 平成22年度支部総会

日 時：平成22年6月25日（金）18：30～19：00

会 場：千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館7階プロ  
ジェクトマネジメント学科会議室

出席者：48名（委任状38名を含む）

##### 1) 議題

- (1) 平成21年度事業報告
- (2) 平成21年度収支決算報告
- (3) 平成22年度事業計画案
- (4) 平成22年度予算案
- (5) 役員改選
- (6) その他

##### 2) 懇親会

会 場：千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館7階プロ  
ジェクトマネジメント学科会議室

参加者：10名

##### ② 運営委員会

日 時：平成22年11月27日（土）12：00～12：30

会 場：流通経済大学 新松戸キャンパス 1004教室

出席者：9名

##### ③ 定例セミナー

学生論文中間検討会の特別講演として実施

日 時：平成22年11月27日（土）16：30～17：30

会 場：流通経済大学 新松戸キャンパス 503教室

題 名：数理計画によるロジスティクス・ネット  
ワークの最適化事例

講 師：後藤 一孝氏（日本ビジネスクリエイト）

参加者：69名

##### ④ 平成22年度学生論文中間検討会

日 時：平成22年11月27日（土）13：00～16：10

##### 1) 発表会

会 場：流通経済大学 新松戸キャンパス 503・504教室

発表件数：16件

参加者：69名

##### 2) 懇親会

会 場：流通経済大学 新松戸キャンパス 学生食堂

参加者：69名

##### ⑤ 支部所属会員数（平成23年3月末）

正会員数 90名、名誉会員数 2名、

学生会員数 24名、賛助会員数 1社

#### 5. 西関東支部

－神奈川、東京、山梨

支 部 長：野渡正博（玉川大学）

副支部長：河野宏和（慶應義塾大学）

大場允晶（日本大学）

前田智彦（富士通（株））

監 事：大野高裕（早稲田大学）

渡辺一衛（成蹊大学）

事 務 局：〒194-8610

町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科内

事務局長 小林直樹

TEL：042-739-8461

FAX：042-739-8858

E-mail：nkoba@eng.tamawaga.ac.jp

<http://www.jiminet.jp/office/branch/nishi-kanto/>

##### ① 平成22年度支部総会

日 時：平成22年4月24日（土曜日）16：00～18：00

会 場：日本大学経済学部 3号館4階会議室

出席者：281名（委任状263名を含む）

##### 1) 議題

- (1) 平成21年度事業報告及び収支報告
- (2) 平成21年度収支決算報告及び監査報告
- (3) 平成22年度事業計画案及び収支予算案
- (4) 支部役員選出の件
- (5) その他

##### 2) 懇親会

会 場：日本大学

参加者：14名

##### ② 運営委員会

##### 1) 第1回

日 時：平成22年6月26日（土）14：00～15：30

会 場：日本大学経済学部 3号館4階会議室

出席者：10名

##### 議題

春季大会報告

春季大会会計報告

学会法人化移行に関する報告

改定新規則の説明と今後の会計、運営

##### ③ 定例セミナー

##### 1) 第1回人材育成研究会

日 時：平成22年6月26日（土）16：00～18：00

会場：日本大学経済学部3号館4階会議室  
題名：IT業界におけるソリューションビジネスへのチャレンジ

講師：河田勝之（富士ゼロックス(株)ソリューションビジネス計画部長）

参加者：21名

2) 第2回人材育成研究会

日時：平成22年8月21日（土）16：00～18：00

会場：日本大学経済学部3号館4階会議室

題名：私のレレキシヨ

講師：内藤猛美（(株)日立コンサルティング  
コンサルフェローネットワーク会員）

参加者：14名

3) 第3回人材育成研究会

日時：平成22年10月2日（土）16：00～18：00

会場：日本大学経済学部3号館4階会議室

題名：実践経営哲学

講師：澤村淑郎（ウイルソン・ラーニングワールドワイド(株)エグゼクティブ・アドバイザー）

参加者：10名

4) 第4回人材育成研究会

日時：平成22年12月18日（土）16：00～18：00

会場：日本大学経済学部3号館4階会議室

題名：変化をマネジメントするIT

講師：奥雅春（東京大学特任研究員，玉川大学客員教授）

参加者：17名

5) 第5回人材育成研究会

日時：平成23年2月5日（土）16：00～18：00

会場：日本大学経済学部3号館4階会議室

題名：私にとってIEとは何か

講師：安楽晃一郎（日産工機(株)常勤監査役）

参加者：15名

④ 第11回学生論文発表会

1) 発表会

日時：平成23年2月27日（日）13：00～17：00

会場：十文字学園女子大学 新座キャンパス9号館

発表件数：33件

参加者：71名（教員18名、学生53名）

2) 表彰式・懇親会

17：30～19：00

会場：十文字学園女子大学新座キャンパスカフェテリア

参加者：36名

⑤ 西関東支部企画講演会(平成22年度春季大会)

日時：平成22年5月16日（日）10：00～12：10

会場：日本大学経済学部

題名：ものづくり組織と革新活動

企画・司会：野渡正博(西関東支部長)

講師：菅野俊彦（富士通(株)）

渡邊祐子(日本電気(株))

飛田甲次郎(オムロン(株))

参加者：20名（教員16名、学生4名）

⑥ ユースプロジェクト「六大学ゼミ交流会」

1) 発表会

日時：平成22年9月18日（土）13：00～18：30

会場：産業能率大学 自由が丘キャンパス2号館2201

発表件数：8件

参加者：60名

2) 懇親会

会場：学生食堂

参加者：50名

⑦ 共催

1)(社)日本経営工学会イブニングセミナー

日時：平成22年8月27日（金）18：00～20：00

会場：早稲田大学 大久保キャンパス51号館15階10室

発表：吉本一穂(早稲田大学)

参加者：24名

2) 日本設備管理学会関東支部 第2回講演会

日時：平成22年9月21日（火）14：00～17：00

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス52号館B-101

講演：Dr. Stefan Bracke

参加者：29名

3) 日本知財学会知財教育分科会第2回知財教育セミナー

日時：平成23年2月27日（日）9：00～11：30

会場：玉川大学 大学研究室棟地下B104

発表件数：2件

参加者：37名

⑧ 支部所属会員数（平成22年3月末）

正会員数 560名、名誉会員数 16名、

学生会員数 111名、賛助会員数 8社

## 6. 中部支部

—愛知、岐阜、三重、静岡

支部長 中出康一（名古屋工業大学）

副支部長 植村康一（株式会社豊田自動織機）

伊藤久司（名古屋経済大学）

監事 大濱慶和（愛知産業大学）

服部壯一（中小企業基盤整備機構アドバイザー）

事務局 〒456-0058

名古屋市熱田区六番二丁目2番1号

株式会社名古屋化学工業所 OA事業部内

事務局担当 萩原彰一

TEL：052-652-5631

FAX：052-652-5632

E-mail：jima@nkk-net.jp

http://www.nkk-net.jp/jima-chubu/

① 平成22年度支部総会

日時：平成22年4月26日（月）16：00～16：30

会 場：愛知工業大学本山キャンパス

出席者：77名（委任状55名を含む）

1) 議 題

(1) 平成21年度事業報告

(2) 平成21年度決算報告および監査報告

(3) 平成22年度事業計画、予算審議、役員人事

2) 懇親会

会 場：愛知工業大学本山キャンパス 2F 多目的室

参加者：16名

② 常任幹事会(幹事会含む)

1) 第1回

日 時：平成22年4月26日（月）15：00～15：45

会 場：愛知工業大学 本山キャンパス

出席者：11名

2) 第2回

日 時：平成22年6月3日（水）18：15～20：15

会 場：名古屋工業大学 2号館ラウンジ

出席者：13名

3) 第3回

日 時：平成22年9月7日（火）18：15～20：00

会 場：名古屋工業大学 2号館 701B室

出席者：11名

4) 第4回

日 時：平成22年11月16日（火）18：15～20：35

会 場：名古屋工業大学 2号館ラウンジ

出席者：10名

5) 第5回

日 時：平成23年1月13日（木）18：15～20：00

会 場：名古屋工業大学 2号館ラウンジ

出席者：11名

6) 第6回

日 時：平成23年3月24日（木）18：15～20：50

会 場：名古屋工業大学 2号館ラウンジ

出席者：12名

③ 定例セミナー(支部講演会)

1) 第1回

日 時：平成22年4月26日（月）16：30～18：00

会 場：愛知工業大学 本山キャンパス 3F 大学院  
講義室1

参加者：25名

題 目：改善曼陀羅～現場改善を中心に～

講 師：石川 君雄（国際経営技術研究所代表）

2) 第2回

日 時：平成23年2月22日（火）16：40～17：40

会 場：名古屋工業大学 2号館 0221教室

参加者：34名

題 目：サプライチェーンの最適運用：プル方式を超えて

講 師：大野 勝久（愛知工業大学 教授）

④ 課題別研究会（事例研究会）

1) 第1回 国内外の調達・発注計画

日 時：平成22年7月30日（金）16：00～16：30

会 場：三菱自動車工業(株)岡崎工場 会議室

参加者：22名

2) 第2回 減産に向けた取り組み、最近の生産改善活動

日 時：平成22年11月18日（木）14：50～15：25

会 場：(株)トヨタ自動車元町工場 会議室

参加者：25名

3) 第3回 海外生産と今後の海外展開

日 時：平成22年12月17日（金）15：50～16：20

会 場：(株)エルモ社 本社

参加者：19名

⑤ 平成22年度 社団法人日本経営工学会中部支部研究発表会（学生論文発表会含）

1) 研究発表会

日 時：平成23年2月22日（火）10:30-16:30

会 場：名古屋工業大学 2号館 0221教室

発表件数：13件 参加者：30名

2) 懇親会

会 場：名古屋工業大学2号館ラウンジ

参加者：20名

⑥ 見学会

1) 第1回 見学会

日 時：平成22年7月30日（金）14：00～16：00

会 場：三菱自動車工業(株) 岡崎工場（愛知県岡崎市）

参加者：19名

2) 第2回 見学会

日 時：平成22年11月18日（木）13：15～14：50

会 場：(株)トヨタ自動車元町工場

参加者：23名

3) 第3回 見学会

日 時：平成22年12月17日（金）14：00～15：50

会 場：(株)エルモ社 本社

参加者：17名

⑦ 協賛事業

1) シンポジウム「役に立つ最適化ツールとその応用」

主 催：日本オペレーションズ・リサーチ学会中部支部

協 賛：日本経営工学会中部支部、日本品質管理学会支部、  
スケジューリング学会、電子情報通信学会東海支部、  
情報処理学会東海支部、電気学会東海支部、日本規格協会名古屋支部、中部品質管理協会

後 援：中部産業連盟

日 時：平成22年9月22日（水）13:30～17:30

会 場：名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリー  
3F ベンチャーホール

参加者：88名

⑧ ニューズレター

第1回 2010年6月号、第2回 2010年9月号、第3回 2011年1月号

⑨ 支部所属会員数（平成23年3月末）

正会員数 128名、名誉会員数 0名、  
学生会員数 9名、賛助会員数 6社

## 7. 北陸支部

一石川、富山、福井、新潟、長野  
支 部 長：中野 真（金沢工業大学）  
副支部長：岡崎義仁（NEC）  
監 事：村井繁夫（能登印刷株式会社）  
西端 敏（金沢大学）  
事 務 局：〒921-8501  
石川県石川郡野々市町扇ヶ丘 7-1  
金沢工業大学  
プロジェクト教育センター内  
事務局担当者名 中野 真  
TEL：076-248-9630  
FAX：076-294-6723  
e-mail：mnakano@neptune.kanazawa-it.ac.jp  
<http://www.jiminet.jp/office/branch/hoku-riku/index.html>

### ① 平成22年度支部総会

日 時：平成22年6月19日（土）14：00～15：10  
会 場：金沢工業高等専門学校 31-204 教室  
出席者：30名（委任状11名を含む）

#### 1) 議題

- (1) 平成21年度事業報告
- (2) 平成21年度決算報告
- (3) 平成22年度事業計画案
- (4) 平成22年度支部予算案
- (5) 平成22年度支部役員案
- (6) その他

### ② 運営委員会

#### 1) 第1回

日 時：平成21年4月20日（火）18：20～20：00  
会 場：金沢工業大学 14-302-2 会議室  
出席者：8名

#### 2) 第2回

日 時：平成22年7月30日（金）18：40～19：30  
会 場：金沢工業大学 14-302-2 会議室  
出席者：6名

#### 3) 第3回

日 時：平成23年2月5日（土）19：00～19：30  
会 場：鏑木商舗  
出席者：8名

### ③ 定例セミナー

#### 1) 第1回

日 時：平成21年6月19日（土）15：30～16：30  
会 場：金沢工業高等専門学校 31-204 教室  
題 名：四面思考について  
講 師：近藤 修司（北陸先端科学技術大学院大学）  
参加者：19名

#### 2) 第2回

日 時：平成22年1月9日（土）16：00～17：00  
会 場：IT ビジネスプラザ武蔵 5F 研修室 1

題 名：人生を考える

講 師：杉原 美佐子（杉原企画）

参加者：25名

### ④ 課題別研究会

#### 1) 第1回

日 時：平成22年6月24日（木）13：30～15：30

会 場：石川県地場産業センター新館 1F コンベンションホール

題 名：个性的に考え続ける経営品質保証活動～第二の創業で取り組んだこと～

講 師：松浦 信男（万協製菓(株)）

参加者：110名

#### 2) 第2回

日 時：平成22年9月25日（土）

会 場：石川県地場産業センター本館 2F 第6研修室

題 目：ロール加工における利益管理の構築発表者

発表者：宮江 義英（榊製菓(株)）

林 佑介（金沢工大院）

題 目：新製品製作日程の最適化

発表者：船木 一興（高松機械工業(株)）

京極 健（金沢工大）

題 目：日程管理システムにおける入力項目件数の20%削減

発表者：高本 宏和（澁谷工業(株)）

舟橋 直正（金沢工大院）

題 目：ブームラインネック工程の工数10%低減

発表者：田辺 真哉（榊北菱）

題 目：組立の生産性向上

発表者：吉田 知功（榊タガミ・イーエクス）

題 目：引合から見積提出までのリードタイム短縮

発表者：上田 武（榊板尾鉄工所）

題 目：引合から見積提出までのリードタイム短縮

発表者：澤村 雄一（榊東振テクニカル）

三瓶 頌太（金沢工大院）

参加者：25名

### ⑤ 若手交流会・学生研究発表会

#### 1) 第1回若手交流会

日 時：平成21年7月27日（火）13：00～15：30

会 場：金沢工業大学 67号館 315号室

題 名：フェライトビーズ装着パワーMOSFE 新規流動品のクレーム発生防止

題 名：ブルトラックフレーム 6R（イコバ）の溶接欠陥原因追求と対策

発表者：青木 剛（榊タガミ・イーエクス）

沖野 雅寛（金沢工大院）

題 名：金属熱処理における燃費向上

発表者：伊藤 善宗（栗田 HT(株)）

吾妻 広之（金沢工大院）

題 名：ストアドプロシージャ標準化のためのシステム構

築  
 発表者：高本 宏和（澁谷工業㈱）  
 安澤 翔太、世木 直人（金沢工大院）  
 題名：塗装工程の品質改善  
 西野 智之（㈱北菱）  
 三瓶 頌太（金沢工大院）  
 題名：試作品の管理・運用方法の制定  
 発表者：宮野 真英（㈱東振精機）  
 林 佑介（金沢工大院）  
 題名：タレットの品質向上に関する取り組み  
 発表者：山本 博章（高松機械工業㈱）  
 舟橋 直正（金沢工大院）  
 参加者：26名  
 2) 第2回若手交流会  
 日時：平成22年2月1日（火）13：00～17：30  
 会場：津田駒工業株式会社本社 6F 612 ホール  
 題名：クランクシャフト加工ラインのリードタイム短縮  
 発表者：菅本 裕一、松本 信幸、武田 大介（津田駒工業㈱）  
 高本 宏和（澁谷工業㈱）  
 船木 一興（高松機械工業㈱）  
 河上 剛（㈱タガミ・イーエクス）  
 本多 健次（㈱北菱）  
 吾妻 広之、三瓶 頌太、世木 直人  
 林 佑介、舟橋 直正、山本 泰弘（金沢工大院）  
 題目：静岡シブヤ精機における(工)見積回答書発行のリードタイム短縮  
 発表者：高本 宏和（澁谷工業㈱）  
 林 佑介（金沢工大院）  
 題目：TSE10F 乾燥部の工数低減  
 菅本 裕一（津田駒工業㈱）  
 舟橋 直正（金沢工大院）  
 題目：307 アームラインリードタイム短縮発  
 発表者：本多 健次（㈱北菱）  
 三瓶 頌太（金沢工大院）  
 題目：ブル T/F ASS'Y の出来高向上  
 発表者：河上 剛（㈱タガミ・イーエクス）  
 吾妻 広之（金沢工大院）  
 題目：手配日決めの精度向上による生産計画の確立  
 発表者：松本 信幸（津田駒工業㈱）  
 山本 泰弘（金沢工大）  
 題目：機械課における XC-100 部品製作のリードタイム短縮  
 発表者：船木 一興（高松機械工業）  
 題目：ジェットルーム、ノズル部品のリードタイム短縮  
 発表者：武田 大介（津田駒工業㈱）  
 世木 直人（金沢工大院）  
 参加者：43名  
 3) 学生研究発表会  
 日時：平成22年3月5日（土）13：00～15：30

会場：IT ビジネスプラザ武蔵 5F 研修室 1

発表件数：9件

参加者：24名

⑥ 懇親会

1) 第1回

日時：平成21年6月19日（土）

会場：鍋木商舗

参加者：8名

⑦ 支部所属会員数（平成23年3月末）

正会員数 46名、名誉会員数 0名、

学生会員数 18名、賛助会員数 0社

## 8. 関西支部

—大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀

支部長：大坂吉文（大坂コンサルティングオフィス）

副支部長：本位田光重（大阪工業大学）

監事：長澤啓行（大阪府立大学工業高等専門学校）

谷彰三（シャープ）

事務局：〒535-8585

大阪市旭区大宮 5-16-1

大阪工業大学工学部技術マネジメント学科内

事務局担当者名 皆川健多郎

TEL：06-6954-4318

FAX：06-6952-6197

E-mail：jima.kansai@gmail.com

<http://www.jimanet.jp/branch/kansai/>

① 平成22年度支部総会

日時：平成22年6月12日（土）14：30～16：30

会場：ダイキン情報システム 会議室

出席者：23名

1) 議題

(1) 支部長挨拶

(2) 平成21年度事業報告

(3) 平成21年度収支決算報告

(4) 平成21年度会計監査報告

(5) 平成22年度事業計画案

(6) 平成22年度収支予算案

(7) 役員異動

(8) 一般社団法人移行に伴う今後の支部運営について

(9) その他

2) 特別講演

会場：ダイキン情報システム 会議室

題名：パナソニックものづくり大学の現状と課題

講師：梶原 弘 氏（パナソニック株式会社 人材開発カンパニー ものづくり研修センター 工科短期大学校（兼）ものづくり大学 前校長）

2) 懇親会

会場：三井ガーデンホテル大阪淀屋橋

② 運営委員会（支部役員会・幹事会）

1) 第1回

日 時：平成 22 年 6 月 12 日（土）16：30 ～ 17：00

会 場：ダイキン情報システム株式会社 会議室

出席者：21 名

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 9 月 11 日（土）16：30 ～ 17：00

会 場：ダイキン情報システム株式会社 会議室

出席者：13 名

3) 第 3 回

日 時：平成 22 年 10 月 7 日（木）20：30 ～ 21：00

会 場：大阪工業大学大阪センター

出席者：12 名

4) 第 4 回

日 時：平成 22 年 12 月 11 日（土）17：00 ～ 17：20

会 場：ダイキン情報システム株式会社 会議室

出席者：19 名

5) 第 5 回

日 時：平成 23 年 2 月 19 日（土）16：55 ～ 17：35

会 場：北浜フォーラム

出席者：10 名

6) 第 6 回

日 時：平成 23 年 4 月 16 日（土）13：30 ～ 14：00

会 場：大阪工業大学大阪センター

③ 定例セミナー

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 10 月 7 日（木）17：30～20：30

会 場：大阪工業大学 大阪センター

題 名：新技術を新しいサービスにするには？

講 師：平田 史明 氏（㈱理研セルテック）

題 名：産学連携活動業務の改善と今後の方向

講 師：竹崎 壽夫 氏（大阪府立大学）

参加者：14 名

2) 第 2 回

日 時：平成 23 年 2 月 19 日（土）14：00 ～ 17：00

会 場：北浜フォーラム

題 名：ブランド選択と行列構造－自動車業界での応用－

講 師：樋口 友紀 氏（大阪府立大学）

題 名：空調機生産におけるリアルタイム部品見える化と  
生販需給調整

講 師：平野 徹氏（ダイキン情報システム）

参加者：13 名

④ 事例研究会

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 9 月 11 日（土）14：00 ～ 17：00

会 場：ダイキン情報システム株式会社

題 名：産学連携によるものづくり人材育成－大阪工大の  
ものづくりマネジメントセンターの活動－

講 師：本位田 光重 氏（大阪工業大学）

題 名：最近の“経営見える化システム”事例

講 師：山北 和司氏（㈱エヌエスソリューションズ関西）

参加者：17 名

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 12 月 12 日（土）14：00 ～ 17：00

会 場：ダイキン情報システム株式会社

題 名：技術を活かす経営－新たな技術経営の取り組み－

講 師：西口 泰夫 氏（㈱HANDY）

題 名：企業ではどのように自主性を育ててきたか

講 師：泉井 力 氏（関西大学）

参加者：27 名

⑤ 卒業論文・修士論文発表会

1) 発表会

日 時：平成 23 年 3 月 11 日（金）13：00～17：00

会 場：甲南大学 平生記念セミナーハウス

発表件数：11 件

参加者：31 名

⑥ 見学会

日 時：平成 22 年 12 月 10 日（金）13：30～16：30

会 場：株式会社クボタ堺製造所

参加者：7 名

⑦ 関西支部企画特別セッション～経営工学の実践～

日 時：平成 22 年 10 月 24 日（日）10：00～12：10

会 場：福岡工業大学（平成 22 年度春季研究発表大会）

オーガナイザー・司会：竹安 数博氏（大阪府立大学）

題 名：関西支部からの問題提起“支部の活性化に向けて”

講 師：大坂 吉文 氏（OSAKA CONSULTING OFFICE）

題 名：産学連携活動業務の改善と今後の方向

講 師：竹崎 壽夫 氏（大阪府立大学）

題 名：企業の研究開発投資とその収益性について

講 師：宮田 秀典 氏（㈱キュービック）

題 名：稼働率の向上と利益の最大化実現のシミュレー  
ション検証

講 師：浅見 登 氏（㈱NETS）

⑧ 支部所属会員数（平成 22 年 3 月末）

正会員数 243 名、名誉会員数 4 名、

学生会員数 38 名、賛助会員数 6 社

9. 中国四国支部

－鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、愛媛、高知、徳島

支 部 長：大橋 和正（岡山大学）

副支部長：金川 明弘（岡山県立大学）

宋 相戴（広島工業大学）

錦織 昭峰（県立広島大学）

坂谷 眞司（マツダ（株））

監 事：高橋 勝彦（広島大学）

松富 達夫（近畿大学）

事 務 局：〒739-0321 広島市安芸区中野 6-20-1

広島国際学院大学情報デザイン学部

事務局担当者名：神垣 太持

TEL: 082-820-2650

FAX: 082-820-2640

E-mail : cs.jima@gmail.com

<http://www.jiminet.jp/office/branch/chugoku-shiku/index.html>

① 支部総会

日 時：平成 22 年 5 月 7 日（金）13:30～14:30

会 場：マツダ株式会社本社 203 会議室

出席者:60 名（委任状 46 名を含む）

議 題：

平成 21 年度支部事業報告

平成 21 年度支部決算報告

平成 22 年度支部事業計画

平成 22 年度支部予算

その他

② 運営委員会（支部役員会、幹事会）

**支部役員会**

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 5 月 7 日（金）13:30～14:30

会 場：マツダ株式会社本社 203 会議室

出席者:30 名（委任状 13 名を含む）

議 題：総会と同じ

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 12 月 10 日（金）17:00～18:00

会 場：岡山大学 津島キャンパス

出席者:25 名（委任状 24 名を含む）

議 題：平成 23・24 年度支部役員選挙の選挙管理委員なら  
びに選考委員の承認

**支部幹事会**

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 5 月 7 日（金）12:00～13:00

会 場：マツダ株式会社 204 会議室

出席者：10 名

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 10 月 28 日（木）12:00～13:00

会 場：広島国際学院大学袋町キャンパス

出席者：10 名

3) 第 3 回

日 時：平成 23 年 3 月 5 日（土）12:00～13:00

会 場：愛媛大学 城北キャンパス

出席者：11 名

③ 経営工学定例セミナー

日 時：平成 22 年 10 月 28 日(木)15：00～16：20

演 題：「大型船の建造工程管理」

講 師：下垣 慶紀氏（三井造船株式会社 船舶・艦艇事業本部 理事 艦船・特機総括部長）

会 場：広島国際学院大学 袋町キャンパス

参加者：18 名

④ 事例研究会

**講演会**

第 1 回

日 時：平成 22 年 5 月 7 日（金）15：00～16:30

演 題：半導体デバイス開発の「これまで」と「これから」  
—材料選択の歴史と開発動向—

講 師：徳田 安紀氏（岡山県立大学情報工学部教授）

会 場：マツダ株式会社 201 会議室

参加者：23 名

**若手研究者による勉強会・交流会**

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 9 月 28 日（火）16：30～18:15

演 題：経営工学分野での進化計算法 ほか

講 師：折登 由希子氏（広島大学）、大久保 寛基氏（岡山大学）

会 場：岡山大学 津島キャンパス

参加者：16 名

2) 第 2 回

日 時：平成 23 年 3 月 6 日（日）10：00～11：30

演 題：「近畿大学におけるサービス工学研究への取り組み」

講 師：片岡 隆之氏（近畿大学）

会 場：愛媛大学 城北キャンパス

参加者：11 名

⑤ 学生論文発表会

日 時：平成 23 年 3 月 5 日(土) 11：00～15：30

会 場：愛媛大学 城北キャンパス

発表件数：11 件

参加者：28 名

⑥ 工場見学

日 時：平成 22 年 8 月 30 日(月)13：00～15：30

会 場：タダノ本社高松工場

参加者：21 名

⑦ 研究論文発表会

日 時：平成 22 年 10 月 28 日(木)10：00～14：40

会 場：広島国際学院大学 袋町キャンパス

発表件数：5 件

参加者：22 名

⑧ 支部表彰

平成 23 年 3 月 5 日（土）

優秀研究発表賞 6 名

大矢 哲士、亀山 友花、嶋村 美香、

反田 健太郎、長尾 英紘、矢後 諒智

研究発表賞 5 名

岩本 史恵、佐藤 元紀、田中 彰、

土井 文人、藤田 紳也

支部長賞 6 名

亀山 友花、嶋村 美香、反田 健太郎、

田中 彰、長尾 英紘、矢後 諒智

⑨ 第 10 回中日経営工学国際会議（ICIM 2010）

開催期間：平成 22 年 9 月 16 日～18 日

会 場：北京航空航天大学（中国）

⑩ 支部役員改選

平成 22 年 12 月 20 日告示

平成 23 年 1 月 19 日投票用紙送付

平成 23 年 2 月 18 日投票締め切り

⑩ 支部所属会員数 (平成 23 年 3 月末)

正会員 103 名、名誉会員 1 名

賛助会員 2 社、学生会員 14 名

## 10. 九州支部

一福岡、佐賀、熊本、大分、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄

支部長：赤木文男 (福岡工業大学)

副支部長：泉 英明 (総合政策研究所)

河内明人 (㈱ベスト電器)

国狭武己 (九州産業大学)

宋 宇 (福岡工業大学)

監 事：太田能史 (太田総合経営研究所)

田嶋拓也 (福岡工業大学)

事務局：〒811-0295

福岡市東区和白東 3-30-1

福岡工業大学情報工学部

システムマネジメント学科内

事務局担当者名 赤木 文男

TEL:092-606-3131

FAX:092-606-0756

E-mail:kanjim@fit.ac.jp

<http://www.fit.ac.jp/~akagi/JIMA/>

① 平成 22 年度支部総会

日 時：平成 22 年 4 月 17 日 (土) 13:20~14:20

会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室

出席者：28 名(委任状 12 名を含む)

1) 議題

(1) 会員在籍状況・入退会状況報告

(2) 平成 21 年度事業報告

(3) 平成 21 年度会計 (決算) 報告

(4) 支部役員の内

(5) 平成 22 年度事業計画

(6) 平成 22 年度予算

(7) その他

(8) 総会終了後表彰

2) 懇親会 17:00~19:00

会 場：福岡工業大学内

参加者：15 名

② 運営委員会 (支部幹事会)

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 7 月 10 日(土)12:40~13:40

会 場：九州産業大学 1 号館 6 階演習室

出席者：16 名(委任状 4 名を含む)

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 12 月 11 日(土)12:00~13:00

会 場：九州産業大学 1 号館 8 階会議室

出席者：22 名(委任状 9 名を含む)

3) 第 3 回

日 時：平成 23 年 4 月 23 日(土)12:00~13:10

会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階ゼミ室

3. 定例セミナー

(日本生産管理学会九州支部(JSPM)と共催)

日 時：平成 22 年 12 月 11 日 (土) 13:10~17:40

会 場：九州産業大学 1 号館 8 階

第 1 発表 13:10~14:10

題 名：企業価値を高めるナレッジマネジメント構築と  
セキュリティ

講 師：平田耕一郎(㈱オリオグローバル)

第 2 発表 14:20~15:20

題 名：地域活性化と観光マネジメント—デジタル・アー  
カイブ化を用いた地域文化情報—

講 師：橋本恵子(福岡工業大学短期大学)

第 3 発表 15:30~16:30

題 名：社会福祉施設経営におけるリスク管理

講 師：大熊隆吉(特別養護老人ホームあおぞら 施設長)

参加者：22 名

④ 研究会

1) 第 1 回

日 時：平成 22 年 4 月 17 日 (土) 14:30~16:40

会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室 3

第 1 発表 14:30~15:30

題名：web ページの発展性と使用語との関連

講 師：高木昇(九州産業大学)

第 2 発表 15:40~16:40

題 名：大企業の給与構造の変動傾向

—新日鐵を中心として—

講 師：江口傳(久留米大学名誉教授)

参加者：16 名

2) 第 2 回

日 時：平成 22 年 7 月 10 日 (土) 14:00~16:10

場 所：九州産業大学 1 号館 6 階演習室

第 1 発表 14:00~15:00

題 名：物流と物流をとりまく経済環境について

講 師：大塚淳子(ジェイティス)

第 2 発表 15:10~16:10

題 名：新入社員動向調査研究

講 師：石飛壯一(シンフォナイズ(株))

参加者：14 名

⑤ 第 37 回学生論文発表会

1) 発表会

日 時：平成 23 年 2 月 26 日(土) 10:30~16:10

会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室 3

発表件数：12 件

参加者：34 名

2) 懇親会

会 場：福岡工業大学内 16:40～18:40

参加者：20 名弱

⑥ 見学会

日 時：平成 22 年 8 月 6 日（金）12:45～15:30

会 場：日産自動車（株）九州工場

参加者：36 名

懇親会：18:00～20:00

なごみ亭 ひで庵

⑦ 学生会講演会

日 時：平成 22 年 12 月 22 日（水）14:40～16:10

会 場：近畿大学産業理工学部キャンパス 1304 教室

題 名：職場の管理・改善活動

講 師：古山滋人(長崎総合科学大学)

⑧ 支部所属会員数（平成 23 年 3 月末）

正会員数 59 名、名誉会員数 0 名、

学生会員数 4 名、賛助会員数 1 社

## 研究部会活動

### 1. KAIZEN and ERGONOMICS 研究部会

(主査: 三澤哲夫)

(1) 第 34 回夏季研修会<J-JIMA2010>

日程：2010 年 8 月 23 日～25 日

場所：松島センチュリーホテル

研修先：松島町内および塩竈市内の役場・企業様

第一次産業＝農業：有限会社サンフレッシュ松島

(<http://www.sunfresh-matsushima.co.jp/>)

第二次産業＝石材加工業：株式会社松島産業

(<http://www.matsushimasangyo.co.jp/>)

食品加工業：株式会社三波食品

第三次産業＝港湾運送業：株式会社塩竈港運送

(<http://www.siogamakouunsou.com/>)

遊覧船運航業：松島バイクルーズ株式会社

(<http://www.matsushimawan.co.jp/>)

行政：松島町役場 (<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>)

特別講演会：東北大学未来科学技術共同研究センター客員  
教授 北村正晴（きたむらまさはる）氏

(2) 講演会

日程：2011 年 3 月 3 日

場所：神奈川大学（横浜市）

講師：神奈川大学准教授 堀野定雄（ほりのさだお）氏

参加者：45 名

### 2 循環型サプライ・チェーン研究部会

(主査: 開沼泰隆)

専門的知識の提供

開催日：平成 22 年 8 月 25 日，26 日

場 所：Cardiff Business School, (Wales, UK)

内 容：CLSC と関連する法規制に関する国際シンポジウ  
ムを企画した。カーディフ大学の Dr. S. Disney, P.

Marlow 教授と交流し、平成 23 年 2 月/3 月 開催予  
定の国際シンポジウムに関する講演者等の専門的  
な知見からのアドバイスを頂いた。

\*Dr. S. Disney が 23 年 1 月～5 月まで Boston 大学へのサバ  
ティカルによりシンポジウムはを延期することにした。

### 3. 予測市場と集合知活用研究部会

(主査: 水山 元)

1) 第 1 回研究会（通算 4 回目）

日程：2010 年 7 月 23 日（金）14:00～17:30

会場：キヤノン IT ソリューションズ（株） 勝どき事務所  
セミナールーム

（東京都中央区勝どき 6-1-15 勝どき YS ビル内）

特別講演

題目：マルチエージェントの自動交渉機構と集合的コロバ  
レーション支援への応用

講師：名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻 准教授・

MIT スロークン経営大学院 Center for Collective

Intelligence 客員研究員 伊藤 孝行 氏

研究発表とディスカッション

題目：国政選挙を対象とした予測市場「shuugi.in 実験」

著者：佐藤 哲也（静岡大学）

研究発表とディスカッション

題目：新商品需要予測のための予測市場システムの開発と  
検証

著者：多ヶ谷 有，浅田 克暢（キヤノン IT ソリューション  
ズ（株））

研究発表とディスカッション

題目：予測市場の活用動向に関するアンケート調査につい  
て

著者：佐藤 哲也（静岡大学），水山 元（京都大学）

2) 第 2 回研究会（通算 5 回目）

日程：2010 年 11 月 27 日（土）14:00～17:30

会場：京都私学会館 中会議室 301（京都市下京区室町通高  
辻上ル山王町 561）

特別講演

題目：土木計画における予測市場の利用可能性

講師：東北大学大学院 情報科学研究科 人間社会情報科学  
専攻 准教授 福本 潤也 氏

研究発表とディスカッション

題目：地域電力取引市場と適応エージェントによる自律分  
散型スマートグリッド

著者：谷口 忠大（立命館大学）

研究発表とディスカッション

題目：複数期間の需要量を同時に予測するための予測市場  
システムの開発

著者：齊藤 裕，水山 元（京都大学）

研究発表とディスカッション

題目：予測市場実験に利用できるオープンソースプラットフォーム

フォームについて

著者：天 僚輔, 水山 元 (京都大学)

3) 第3回研究会 (通算6回目)

日程：2011年3月11日 (金) 13:30~17:30

会場：GLOCOM ホール (東京都港区六本木 6-15-21 ハーク  
ス六本木ビル2階)

招待講演 1

講師：和泉 潔 氏 (東京大学大学院工学系研究科システム  
創成学専攻准教授)

題目：「みんなの気分」で株式市場が分かるか

招待講演 2

講師：萩原 雅之 氏 (マクロミルネットリサーチ総合研究  
所所長)

題目：インターネット調査による世論観測実験—有権者の  
センチメントをどう測るか—

招待講演 3

講師：松田 映二 氏 (元朝日新聞社世論調査センター員)

題目：世論調査と選挙予測 -観測装置および観測者の課題-  
招待講演 4

講師：山口 浩 氏 (駒澤大学グローバル・メディア・スタ  
ディーズ学部准教授)

題目：予測市場と法制度の問題

パネルディスカッション (上記講師陣および下記のゲスト  
パネリストによる)

ゲストパネリスト 1：庄司 昌彦 氏 (GLOCOM 研究員)

ゲストパネリスト 2：司会進行：佐藤 哲也 氏 (静岡大学  
情報学部准教授)

#### 4.知的財産マネジメント研究部会

(主査：加藤 浩一郎)

① 第1回知的財産マネジメント研究部会

期 日：11月15日 (月) 19:00-20:30 (開場 19:30)

会 場：金沢工業大学・東京虎ノ門キャンパス (KIT 虎ノ  
門大学院)

東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 12F

テーマ：「Intellectual Ventures 社のビジネスの概要と発明評  
価について」

講 師：Intellectual Ventures 社  
アシスタントディレクター 弁理士  
渡邊 聡 氏

② 第2回知的財産マネジメント研究部会

期 日：12月4日 (土) 13:30-15:00 (開場 13:15)

会 場：金沢工業大学・東京虎ノ門キャンパス (KIT 虎ノ  
門大学院)

東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 12F

テーマ：「パテントスコアによる特許評価について」

講 師：パテント・リザルト社研究本部本部長  
博士 (理学) 大崎 敏郎氏 他

#### 5.若手研究者による IE 探究

(主査：竹本 康彦)

①IEEE SMC Hiroshima Chapter 若手研究会 2010

主催：IEEE SMC Hiroshima Chapter

協賛：日本 OR 学会「ソフトコンピューティングと最適化」  
研究部会, 日本経工学会「若手研究者による IE 探  
究」研究部会

日時：2010年8月21日 (土) 13:00~17:30

場所：県立広島大学 (広島キャンパス)

②森林管理の理論と実際

主催：秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工  
学科, FORMATH 研究会, 日本工学会「若手研究者  
による IE 探究」研究部会

日時：2010年8月30日 (月) 13:00~17:00

場所：秋田県立大学 (本荘キャンパス)

③第1回若手研究者による勉強会・交流会

共催：日本経営工学会中国四国支部, 日本経工学会「若手  
研究者による IE 探究」研究部会

日時：2010年9月28日 (火) 16:30~18:15

場所：岡山大学

④県立広島大学学術講演会

主催：県立広島大学大学院総合学術研究科経営情報学専攻,  
日本経工学会「若手研究者による IE 探究」研究部会

日時：2010年10月21日 (木) 16:20~17:50

場所：県立広島大学 (広島キャンパス)

⑤平成22年度日本経営工学会秋季研究発表大会・企画セッ  
ション

主催：日本経工学会「若手研究者による IE 探究」研究部会

日時：2010年10月23日 10:00~12:10

場所：福岡工業大学

⑥経営システム誌特集号 (特集：若い「芽」と「目」)

主催：日本経営工学会システム誌編集委員会, 日本経工学  
会「若手研究者による IE 探究」研究部会

巻号：第20巻 第6号 (2011年2月・3月号)

⑦第2回若手研究者による勉強会・交流会

主催：日本経営工学会中国四国支部, 日本経工学会「若手  
研究者による IE 探究」研究部会

日時：2011年3月6日 10:00~11:30

場所：愛媛大学

#### 6.MOT 研究部会

(主査：豊島 文雄)

1) 第1回

開催日：2010年5月29日 (土) 13:30~16:30

会 場：新宿西口 工学院大学 28階第3会議室

テーマ：「日本の危機；大学教育と企業経営」

講 師：(株) 1・10・100 経営代表 豊島文雄氏

参加者数：10名

2) 第2回  
開催日：2010年7月24日(土) 13:30~16:30  
会場：新宿西口 工学院大学28階第3会議室  
テーマ：「品質工学視点のトヨタ品質課題」  
講師：クオリティクリエイト(株)取締役 塩沢潤一氏  
参加者数：12名

3) 第3回  
開催日：2010年9月18日(土) 13:30~16:30  
会場：新宿西口 工学院大学28階第2会議室  
テーマ：「先進企業のグローバル化と異文化交流について」  
講師：HOYA(株)西村泰一氏  
参加者数：13名

4) 第4回  
開催日：2010年11月27日(土) 13:30~16:30  
会場：新宿西口 工学院大学21階第5会議室  
テーマ：「工作機械メーカーのグローバル経営について」  
講師：(株)牧野フライス 常務取締役 細島英一氏  
参加者数：12名

5) 第5回  
開催日：2010年3月12日(土) 13:30~16:30  
会場：新宿西口 工学院大学28階第3会議室  
テーマ：「戦略とは優勢なる配置」  
講師：(株)1・10・100 経営 豊島文雄氏  
参加者数：5名(大地震翌日であった為、交通事情による  
当日キャンセル7名)

なお、部会の運営方法と、常任メンバー相互の情報交換の場である幹事会を6月26日(土)、8月28日(土)、10月23日(土)の3回、新宿西口エスティック情報ビル1階で開催。

## 収支決算の概要

(継続)

「KAIZEN and ERGONOMICS」研究部会

補助金額 100,000円

執行金額 100,000円

「循環型サプライ・チェーン」研究部会

補助金額 100,000円

執行金額 61,640円

「予測市場と集合知活用」研究部会

補助金額 100,000円

執行金額 75,692円

(新設)

「知的財産マネジメント」研究部会

補助金額 50,000円

執行金額 0円

「若手研究者によるIE探究」研究部会

補助金額 50,000円

執行金額 40,119円

「MOT研究部会」研究部会

補助金額 50,000円

執行金額 50,000円

以上 6研究部会

補助金額合計 450,000円

執行金額合計 327,451円

## (5) 内外の関連機関との連携及び交流(定款5条5号)

### 活動報告

1. 国際会議及び協賛学会情報を学会ホームページ及びメールマガジンにより提供した。
2. IFPR(ICPR)に関する第21回ドイツ会議開催の案内を行った。
3. APIEMS(第12回会議)の広報を行った。
4. 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)へ協力した。
5. 日本技術士会とCPD活動で連携した。
6. 日本IE協会との連携情報を提供した。
7. 中小企業診断協会との連携情報を提供した。
8. 日本技術者認定機構(JABEE)へ協力した。
9. 日本工学教育協会へ協力した。
10. 日本工学会へ協力した。

## (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業(定款5条6号)

特になし

## Ⅱ. 処務の概要

### (1) 役員等に関する事項

平成23年度3月末現在

職名	常非別	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
会長	非常勤	能勢豊一	平成21年5月16日	業務の総括	無	大阪工業大学教授	
副会長	〃	大場允晶	〃	会長の補佐	〃	日本大学教授	
副会長	〃	渋谷貞雄	〃	会長の補佐	〃	渋谷経営技術研究所所長	
理事	〃	開沼泰隆	〃	庶務	〃	首都大学東京准教授	
理事	〃	河野宏和	〃	国際渉外	〃	慶應義塾大学教授	
理事	〃	曹徳弼	〃	表彰、研究	〃	慶應義塾大学教授	
理事	〃	椎原正次	〃	支部・JABEE	〃	大阪工業大学准教授	
理事	〃	斎藤文	〃	会員、調査	〃	産業能率大学教授	
理事	〃	関庸一	〃	編集/論文誌	〃	群馬大学教授	
理事	〃	八巻直一	〃	企画行事、人材育成	〃	静岡大学教授	
理事	〃	水山元	〃	編集/システム誌	〃	京都大学講師	
理事	〃	飯島正樹	〃	大会	〃	愛知学院大学教授	
理事	〃	金子勝一	〃	財務	〃	山梨学院大学教授	
監事	〃	高橋勝彦	〃	監査	〃	広島大学教授	
監事	〃	松丸正延	〃	監査	〃	東海大学教授	

### (2) 職員に関する事項

平成23年3月末現在

職名	常非別	氏名	担当就任年月日	担当職務	備考
担当	常勤	寺西紘佑	平成22年7月1日	会員・理事会業務	
	〃	山本直志	平成21年7月1日	〃	
	〃	金村香奈	平成20年4月1日	〃	
	〃	大川敏夫	〃	財務	
	非常勤	加藤貞夫	〃	庶務	

### (3) 会議等に関する事項

#### 1) 理事会

平成 22 年度の活動として、学会財政の健全化と運営の効率化を図りつつ産学協同、学会交流の強化、会員増加、会員へのサービスの好適化、公益法人化を目指し下記の事業を執行した。

開催（回数、年月日、場所）、議事事項、会議の結果

#### 第 30 期第 7 回

平成 22 年 7 月 24 日（土）13:30～18:15

京都大学吉田キャンパス 工学部物理系校舎 830 室

議決事項

1. 第 6 回議事録・理事会だよりの件
2. H22 年度通常総会資料差替の件
3. 入退会の承認の件
4. 業務委託契約更新の件

以上 4 件について全会一致で承認・可決した。

協議事項

1. 総会議事録について
  2. 各委員会における委員への交通費支給について
  3. 経営工学ビジョン策定推進計画案について
  4. インターンシップについて
  5. 支部運営細則について
  6. FMES/JABEE 委員の推薦・派遣について
  7. 新公益社団法人化認定申請の早期化の件
- 以上 7 件について協議した。報告事項は 7 件である。

#### 第 30 期第 8 回

平成 22 年 9 月 24 日（土）14:30～18:00

日本大学経済学部 3 号館 4F 会議室

議決事項

1. 第 7 回議事録・理事会だよりの件
2. 入退会・除名承認の件

以上 2 件について全会一致で承認・可決した。

協議事項

1. 役員候補の推薦及び代議員選挙規則の改定について
  2. 委員会出席のための交通費補助
  3. 通常総会資料訂正 HP 報告案について
  4. 公益社団法人認定申請への転換について
  5. 平成 22 年度事業計画・収支予算案修正について
  6. JIMA 新 HP について
  7. 研究部門運営細則案
  8. 出版企画書について
  9. 横幹連合の連携研究への参画について
  10. 支部運営細則（案）について
  11. FMES/JABEE 国際審査員候補者の推薦について
  12. 100 周年期に向けた計画について
- 以上 12 件について協議した。報告事項は 8 件である。

#### 第 30 期第 9 回

平成 22 年 10 月 22 日（土）18:30～21:00

サンライフホテル 1 階 206 号室

議決事項

1. 第 7 回議事録・理事会だよりの件
  2. 入退会の件
  3. （公益）社団法人就任予定役員の件
  4. 支部運営細則の制定について
  5. 経営工学関連学会協議会協賛等に関する覚書について
- 以上 5 件について全会一致で承認・可決した。

協議事項

- 1 役員候補の推薦及び代議員選挙規則の修正について
  2. 選挙委員の件について
  3. 委員会出席のための交通費補助
- 以上 3 件について協議した。報告事項は 5 件である。

#### 第 30 期第 10 回

平成 23 年 1 月 8 日（土）15:00～18:30

常翔学園大学大阪センター 303 室（毎日インテシオ 3 階）

議決事項

1. 第 9 回議事録・理事会だよりの件
2. 入退会の件
3. 定款変更及び第 2 回臨時総会開催の件
4. 論文誌及び経営システム誌の発送委託業者変更について

以上 4 件について全会一致で承認・可決した。

協議事項

1. 文科省実地検査及び是正対策について
  2. 各支部に割り当てる資金と支部長の改善手続きについて
  3. WEB サイト検討事項について
  4. 2011 年予算案について
  5. 会員検索機能追加について
  6. 100 周年周期事典出版について
  7. 学会協議会会員／連携会員の推薦について
- 以上 7 件について協議した。報告事項は 7 件である。

#### 第 30 期臨時理事会

平成 23 年 2 月 27 日（日）11:00～13:00

首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス（秋葉原ダイビル 12 階会議室 B）

議決事項

1. 第 2 回臨時総会開催の件
  2. 会員細則の制定について
  3. 経営工学会論文誌契約書・覚書について
- 以上 3 件について全会一致で承認・可決した。

#### 第 30 期第 11 回

平成 23 年 3 月 21 日（月）11:00～12:50

首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス（秋葉原ダイビル 12 階会議室 B）

議決事項

1. 第 10 回および臨時理事会議事録・理事会だよりの件
  2. 入退会の件
  3. 事務処理細則の制定の件
  4. 委員会運用細則の制定および委員会執行手続きの件
  5. 業務委託費の件
  6. 2011 年度予算案の件
  7. 著作権規則（案）の件
- 以上 7 件について全会一致で承認・可決した。

協議事項

1. ビジョンシンポジウムについて
  2. 各賞受賞候補者推薦について
  3. 支部の決算報告と支部長の改選手続きについて
  4. 定款案について
- 以上 4 件について協議した。報告事項は 6 件である。

#### 2) 総会

平成 22 年度通常総会

平成 22 年春季大会において開催され、以下の報告審議が行われた。

平成 22 年 5 月 15 日（土）10:00～12:00

日本大学経済学部（水道橋）

報告事項

1)平成 21 年度事業報告および収支決算報告に関する件

2)監査報告に関する件

3)その他

審議事項

第一号議案 平成 21 年度事業報告及び収支決算の件

第二号議案 平成 22 年度事業計画及び収支予算の件

第三号議案 名誉会員推戴の件

第四号議案 一般社団法人移行に伴う承認の件

第五号議案 新法人（一般社団法人）移行のための定款変更の件

第六号議案 定款変更に伴う諸規程変更の件

第七号議案 会費滞納者権利停止・除名の件

第八号議案 その他

**平成 22 年度臨時総会**

平成 22 年 10 月 23 日（土）12:30～13:30

福岡工業大学 A 棟 A11 教室（J 会場）

審議事項

第一号議案 一般社団法人認可申請から公益社団法人認定申請への転換の件

第二号議案 定款変更の件

第三号議案 就任役員

第四号議案 平成 22 年度収支予算修正の件

第五号議案 役員候補の推薦及び代議員選挙規則変更の件

第六号議案 その他

**平成 22 年度第 2 回臨時総会**

平成 23 年 3 月 21 日（月）13:00～14:00

首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス

審議事項

第一号議案 公益社団法人認定申請に要する定款変更の件

第二号議案 その他

### 3) 表彰（選考）委員会

理事：曹 徳弼

委員長：稲田 周平

委員：大野勝久、熊谷敏、三林洋介、関庸一、水山元、村木正昭、山本久志

委員会の開催

第 1 回

開催日：平成 22 年 10 月 23 日（土）12:00～13:00

場所：福岡工業大学

議題：1. 学会賞の見直しについて  
2. 各賞の選考方法について  
3. 選考の日程について

第 2 回

開催日：平成 23 年 2 月 04 日（金）18:00～20:00

場所：東京駅八重洲クラブ

議題：1. 学会賞（学術、功労）の選考  
2. 論文賞の候補論文の絞り込み  
3. 論文奨励賞の候補論文の絞り込み  
4. 特別賞経営システム賞の選考  
5. 特別賞実践賞の選考

### 6. 特別賞優秀学生賞の経過報告

第 3 回

以下の通り、会議開催を予定していたが、震災のために中止。緊急措置として、数回に渡る電子メールのやり取りで議論を実施。

（開催日：平成 23 年 3 月 11 日（金）18:00～20:00）

（場所：東京駅八重洲クラブ）

議題：1. 学会賞（学術、功労）の決定  
2. 論文賞の候補論文の決定  
3. 論文奨励賞の候補論文の決定  
4. 特別賞経営システム賞の決定  
5. 特別賞実践賞の決定  
6. 特別賞優秀学生賞の経過報告

### 4) 各種委員会

#### 1. 庶務委員会

庶務委員会 事業報告

理事：開沼泰隆

委員長：西口宏美

委員：大久保寛基、加藤麻樹、西岡久光、降旗徹馬、皆川健多郎

第 1 回

開催日：平成 22 年 5 月 15 日 12:00～13:00

場所：日本大学経済学部

議題

1) 今年度の委員会活動について

・ホームページ

・新法人化に向けた規程類の改正案の検討

2) その他

出席者：開沼、西口、加藤、降旗、西岡、皆川、大久保

第 2 回

開催日：平成 22 年 9 月 10 日 16:00～17:00

場所：国際文献印刷社会議室

議題

1) ホームページの改訂に関する検討（小委員会検討結果の報告と検討）

2) その他

出席者：開沼、西岡、（斎藤）

第 3 回

開催日：平成 22 年 10 月 23 日 13:30～14:30

場所：福岡工業大学 A 棟

議題

1) 規程類の改正

2) ホームページに関する検討

3) その他

出席者：開沼、西口、降旗、西岡、皆川、大久保

※ メールマガジン発行に関する検討および記事内容のチェックは、毎回発行前（1 日、15 日発行）メールで審議を行った。

ホームページに関しては、ホームページ検討小委員会の検討結果をメールで報告し、それについての検討を行った。

## 2. 研究委員会

理事：曹 徳弼

委員長：中島 健一

委員：大成 尚、小島 貢利、鈴木 定省、北條 仁志、  
降旗 徹馬、松林 伸生

### 第1回

開催日：2010年5月15日

場所：日本大学

議題

- 1) 前回議事録確認
- 2) 研究部門制導入について
- 3) その他

出席者：曹、小島、鈴木、降旗、松林、中島

### 第2回

開催日：2010年10月23日

場所：福岡工業大学

議題

- 1) 研究部門制導入に向けた検討課題
- 2) その他

出席者：曹、大成、小島、北条、降旗、松林、中島

## 3. 日本経営工学会論文誌編集委員会

理事：関 庸一

委員長：山本久志

副委員長：伊呂原 隆、後藤 正幸

委員：青木 洋貴、荒川 雅裕、稲田 周平、折登 由希子、  
葛山 康典、辛島 光彦、三林 洋介、新行内 康慈、  
鈴木 誠、鈴木 淳、竹本 康彦、水野 浩孝、  
長塚 豪己、中出 康一、生田目 崇

- (1) 以下の9回編集委員会を開催し、論文の査読状況を確認するとともに、編集方針について協議した。  
6月24日(木)、7月16日(金)、9月13日(月)、10月25日(月)、11月25日(木)、12月17日(金)、1月27日(木)、2月23日(水)、4月22日(金)
- (2) 日本経営工学会論文誌 (Journal of Japan Industrial Management Association) 和文号、Vol.61, No.1~No.6を冊子体として発行した。  
全般論文0件、技術論文8件、提案論文0件、事例研究0件、原著論文(理論・技術)13件、原著論文(事例研究)4件を収録した。
- (3) 日本経営工学会論文誌 (Journal of Japan Industrial Management Association) 英文号、Vol.61, No.3E,6EをCD-ROMとして発行した。  
招待論文5件、技術論文2件、原著論文(理論・技術)4件、原著論文(事例研究)2件を収録した。

## 4. 人材育成委員会・企画行事委員会

### 第6回 委員会

開催日：2010年5月31日(月) 17:30~19:00

場所：青山学院大学総合研究所(東京都・渋谷区)

議題：

- 1) 人材育成委員会、企画・行事委員会の運用について
- 2) 実践教育プログラムについて
- 3) 技術士連携・ガイダンスについて

出席者：8名

### 第7回 委員会

開催日：2010年6月28日(月) 17:30~19:00

場所：青山学院大学総合研究所(東京都・渋谷区)

議題：

- 1) 実践教育プログラムについて
- 2) 技術士連携・ガイダンスについて
- 3) 経営工学ビジョンの策定と社会に向けた発信

出席者：8名

### 第8回 委員会

開催日：2010年7月19日(土) 17:30~19:00

場所：青山学院大学総合研究所(東京都・渋谷区)

議題：

- 1) 実践教育プログラムについて
- 2) 技術士連携・ガイダンスについて
- 3) 経営工学ビジョンの策定と社会に向けた発信

出席者：6名

実践教育プログラムキックオフミーティング

開催日：2010年8月6日(金) 13:00~17:00

場所：青山学院大学総合研究所(東京都・渋谷区)

議題：

- 1) 実践教育プログラムについて
- 2) マナー・安全教育
- 3) グループミーティング

出席者：約25名

実践教育プログラム サンデン株式会社現場実習

開催日：2010年8月24日(火)~26日(木)

場所：サンデン株式会社(群馬県・前橋市)

内容：現場実習

出席者：12名

実践教育プログラム 東芝株式会社現場実習

開催日：2010年8月25日(水)~27日(金)、9月2日(木)、3日(金)

場所：東芝株式会社(東京都・府中市)

内容：現場実習

出席者：13名

### 第9回 委員会

開催日：2010年9月1日(水) 17:30~19:00

場所：青山学院大学総合研究所(東京都・渋谷区)

議題：

- 1) インターンシップ経過
- 2) 技術士ガイダンス経過
- 3) 秋の学会

出席者：記録なし

実践教育プログラム 株式会社デュプロ現場実習

開催日：2010年9月8日(水)~10日(金)、16日(木)、17日(金)

場所：サンデン株式会社(群馬県・前橋市)

内容：現場実習

出席者：10名

実践教育プログラム 大阪工業大学現場実習

開催日：2010年9月24日(火)~25日(水)

場所：大阪工業大学(群馬県・前橋市)

議題：現場実習・修了式

出席者：18名

#### 実践教育プログラム 修了式

開催日：2010年9月24日（金）13:30～15:30

場 所：青山学院大学総合研究所（東京都・渋谷区）

議 題：

- 1) 実習プログラムでの成果報告、修了証授与、受け入れ企業への感謝状授与

出席者：約30名

#### 第10回 委員会

開催日：2010年9月19日（金）15:30～17:00

場 所：青山学院大学総合研究所（東京都・渋谷区）

議 題：

- 1) 実践教育プログラムについて
- 2) 技術士連携・ガイダンスについて
- 3) 今後の予定

出席者：9名

#### 技術士ガイダンス

開催日：2010年10月2日（土）15:30～17:00

場 所：青山学院大学総合研究所（東京都・渋谷区）

議 題：「技術士を目指そう」

- 1) 技術士の資格説明、相談・アドバイス会

出席者：記録なし

#### 秋季大会 パネルディスカッション

開催日：2011年10月23日（土）17:10～18:10

場 所：福岡工業大学（福岡県・福岡市）

議 題：「経営工学 2050 に向けて」

- 1) 2010年の課題
- 2) 2015年の希望
- 3) 2050年の希望

出席者：約30名

#### 技術士ガイダンス

開催日：2010年12月18日（土）13:30～16:30

場 所：（社）日本技術士会近畿支部（大阪府・大阪市）

議 題：「技術士を目指そう」

- 1) 技術士の資格説明、相談・アドバイス会

出席者：記録なし

#### 第11回 委員会

開催日：2011年1月31日（月）17:00～19:00

場 所：日本IE協会（東京都・渋谷区）

議 題：

- 1) 平成23年度予算
- 2) ビジョンシンポジウムについて
- 3) 技術士説明会（大阪）開催報告

出席者：6名

#### 5. 会員委員会

理 事：斎藤文

委員長：吉本一穂

委 員：赤坂信吾、荒川雅裕、市川博、中邨良樹、森史明

第1回

日時：2010年5月16日（日）12:00～13:00

場 所：日本大学経済学部

議 題：(1)賛助会員向けイブニングセミナーの開催

(2)女性会委向け企画の検討

(3)大会の活性化の検討

(4)学生会員に対するサービス向上の検討

出席者：斎藤、吉本、赤坂、市川、中邨

第2回

開催日：2010年8月27日（金）17:00～18:00

場 所：早稲田大学創造理工学部

議 題：(1)会費未納者に対する事務処理について

(2)第2回イブニングセミナーの開催計画について

(3)ドクトラルセッションの設置について

出席者：斎藤、吉本、荒川、市川

第3回

開催日：2011年2月16日～2月20日

場 所：メール会議

議 題：(1)会員細則変更の件

(2)2011年予算案の変更

出席者：斎藤、吉本、赤坂、荒川、市川、中邨、森

第1回賛助会員向けイブニングセミナー

開催日：2010年8月27日（金）18:00～20:00

場 所：早稲田大学創造理工学部

講師：吉本一穂（早稲田大学、教授）

論題：改善を科学する

参加者：賛助会員からは2社3名、非会員3名

第2回賛助会員向けイブニングセミナー

開催日：2010年12月4日（金）18:00～20:00

場 所：関西大学堺キャンパス

講師：吉本一穂（早稲田大学、教授）

論題：サービス生産性向上と経営工学

参加者：賛助会員からは1社、関西の企業や関西支部の学会員などが3社計6名

#### 6. 財務委員会

理 事：金子勝一

委員長：石島 隆

委 員：島田裕次、伊藤久司、田畑智章、野村高城

(1) 委員会の開催（5月16日、10月24日）

(2) 監査会（計算書類、事業報告及び付属明細書の監査、会計士立会い）

(3) 各四半期毎の伝票検査と試算表の確認

(4) 予算案の検討

(5) 会計帳簿の確認と決算処理

(6) 各支出の確認と承諾

#### 7. 調査委員会

理 事：斎藤文

委員長：同上

委 員：小酒井正和、鈴木 泰之

第1回

日時：2010年8月11日から14日

場 所：メール会議

議 題：新HP案の検討

#### 8. 大会委員会

理 事：飯島正樹

委員長：八木英一郎

委 員：相浦宣徳、笈 宗徳、木内正光、楠川恵津子、後藤正幸、小村和彦、白井 裕

## 1) 研究発表大会、創立 60 周年記念行事

### ● 平成 22 年度春季大会(2010)

日 時：平成 22 年 5 月 15 日 (土) ～5 月 16 日 (日)

会 場：日本大学 経済学部

組織委員長：大場允晶

テーマ：「科学的管理の分水嶺」

### ● 平成 22 年度秋季研究大会

日 時：平成 22 年 10 月 23 日 (土) ～10 月 24 日 (日)

会 場：福岡工業大学

組織委員長：赤木文男

テーマ：「グローバル化時代に於ける地方から挑戦する人づくりものづくり環境づくりの経営工学」

## 2) 委員会開催報告

### 第 1 回

開催日：2010 年 5 月 16 日 (日)

場 所：日本大学経済学部 7 号館 1302 室

出席者：飯島 (理事)、八木 (委員長)、相浦、小村、寛、木内、楠川、後藤、白井

議 題：平成 22 年度春季大会報告

秋季研究大会予定の決定

大会発表資格の緩和 (非会員の発表を認める)

### ○事務局打ち合わせ

開催日：2010 年 7 月 15 日 14:30-16:00

場 所：国際文献社

議 題：大会発表資格の変更に伴うシステム改修の打ち合わせ

### 第 2 回

開催日：2010 年 9 月 2 日 (木) 13:00-17:00

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス 51 号館 15 階 15-00

出席者：飯島、八木

平成 22 年度秋季研究大会プログラム作成

### 第 3 回

開催日：2010 年 10 月 23 日

場 所：福岡工業大学

出席者：飯島、八木、相浦、小村、寛、木内、楠川、白井

議 題：平成 22 年度秋季研究大会報告

大会運営マニュアルについて

### ○事務局打ち合わせ

開催日：2011 年 1 月 24 日 10:30-12:00

議 題：大会運営事務に関する打ち合わせ

### 第 4 回大会委員会

開催日：2011 年 4 月 16 日 13:00-17:00

場 所：東海大学高輪校舎 1 号館 3 階会議室

出席者：飯島、八木、小村、寛、後藤

オブザーバー：加藤

議 題：平成 23 年度春季大会プログラム作成

## 9. 国際・渉外委員会

理 事：河野宏和 (慶應義塾大学)

委員長：石井和克 (金沢工業大学)

委 員：大久保寛基 (岡山大学)、中島健一 (大阪工業大学)、篠田心治 (東京理科大学)、山下裕文 (中部大学)、森澤和子 (大阪府立大学)、菅原光政 (岩手県立大

学)、石井和克 (金沢工業大学)、高桑力也 (古河インフォメーション・テクノロジー (株))、中山麻紀 (日本光電工業 (株))、斎藤正武 (中央大学 (ボストン大学))

## 委員会

APIEMS、IFPR との連携、(社) 日本技術士会、IE 協会との連携、国際会議の情報提供、他学会との共催・協賛事業の支援、経営システム誌の国際会議報告などについて、随時委員間にてメールベースで検討を進めてきました。

## 活動報告

### 1. 国際会議および協賛学会情報の提供

JIMA 会員の研究に関係すると思われる国際会議および国内協賛学会の案内を JIMA のホームページに掲載し、ホームページ担当委員の協力を得て、ほぼ 2 カ月に 1 回のペースで更新してきました。また、国内共催、協賛学会の情報を逐次、JIMA のホームページに掲載すると共に、会員メーリングリストにより提供を行いました。

### 2. APIEMS への協力

Asia Pacific Industrial Engineering and Management Systems : 略称 APIEMS という環太平洋諸国の経営工学・IE 領域の学会連合の第 11 回大会が 2010 年 12 月にマレーシアのマラッカ市で開催されました。JIMA は、APIEMS の設立以来、その運営をサポートしており、現在では 7 名の会員が board member として参画しています。APIEMS との連携については、ホームページにリンクを張り、最新の情報を update しています。また、APIEMS では独自の英文論文誌 IEMS Journal を発行しており、JIMA 会員から毎号のように論文が投稿・掲載されています。JIMA からは Editor-in-chief として玄光男先生、Deputy Editor として河野宏和が editorial board に参画し、IEMS journal の編集と発行に積極的に協力しています。

### 3. IFPR (ICPR) に関する情報提供

International Foundation for Production Re-search: 略称 IFPR は 2 年に 1 回開催される International Conference on Production Research を主催する組織です。1977 年の東京大会以来 JIMA 会員が最も多く参加する国際会議になっています。JIMA からは市村隆哉先生、松井正之先生、能勢豊一先生、石井和克 (副会長、Secretary General、会員委員会委員長) の 4 名の会員が board member、俵信彦先生。市村隆哉先生の 2 名が Fellow として参画しています。また、IFPR にはアジア・環太平洋 (IFPR-APR)、アメリカ (IFPR-AMR)、ヨーロッパ (IFPR-EAR) の 3 つの Region がありますが、アジア・環太平洋会議には JIMA 会員 4 名が理事となっています。第 14 回 IFPR-APR の Regional Meeting が第 11 回 APIEMS (Melaka, Malaysia) と共同開催され、JIMA 会員 3 名が参加しました。この詳細は IFPR (ICPR) 専用ページに掲載しました。

### 4. 横断型基幹科学技術研究団体連合への協力

会員への情報提供サービス向上のために、専用 HP と会員メーリングリストを通じて情報提供を行っています。また、平成 22 年度は連携研究への参画研究者募集活動を行いました。

### 5. IE 協会との連携

JIMA の支部レベルでより地域密着型で日常的な連携活

動を進め、関西 IE 協会や日本 IE 協会と支部のレベルでの相互大会参加、IE 全国大会でのコーディネーター派遣、JIMA の全国大会での IE レビュー誌頒布コーナー設置など相互協力を行いました。

#### 6. 日本技術士会との連携強化

日本技術士会主催の Career Development Pro-gram に JIMA から専門分野の講師を派遣する協力活動を行いました。具体的には、下記の講師派遣を実施しました。

開催日：2011 年 4 月 7 日（木）

場所：日本技術士会草手第二ビル（東京都港区虎ノ門）

題目：クラウドコンピューティングと経営工学

講師：静岡大学大学院工学研究科 井上春樹先生（八巻直一先生から紹介）

#### 7. 経営システム誌への国際会議報告などの掲載

経営システム誌に、下記の通り国際会議報告などの執筆依頼を行いました（敬称略）。

- ・第 20 巻 第 2 号（2010 年 6・7 月）  
2009 APICS 国際会議&EXPO に参加して The Report of 2009 APICS in Toronto, Canada.  
斎藤正武（中央大学）
- ・第 20 巻 第 3 号（2010 年 8・9 月）  
第 1 回 ICSI システムイノベーション Conference に参加して The 1st International Conference on Systematic Innovation in Hsinchu, Taiwan.  
竹安数博（大阪府立大学）
- ・第 20 巻 第 4 号（2010 年 10・11 月）  
第 40 回 Computers & Industrial Engineering 国際会議に参加して The Report of the CIE 40 in Awaji, JAPAN.  
楠川恵津子（大阪府立大学）
- ・第 20 巻 第 5 号（2010 年 12・2011 年 1 月）  
第 1 回 ICBM ビジネス・マネジメント Conference に参加して  
雨宮 孝（摂南大学）
- ・第 20 巻 第 6 号（2011 年 2・3 月）  
海外研究レポート 米国のビール醸造所探訪 ポストン大学滞在記（2）  
斎藤正武（中央大学）

APIEMS 2010 参加報告は、石垣綾先生（東京理科大学）に執筆頂き、近日中に HP に掲載を予定しています。

#### 10. 経営システム誌編集委員会

理 事：水山 元

委 員 長：葛山康典

副委員長：松林伸生、阿部圭司

委 員：青木洋貴、井上一郎、小林稔、坂尾知彦、  
鈴木淳、竹田賢、力利則、中川義之、布瀬雅義、  
堀川三好、丸山友希夫、山田哲男、山本大介

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 6 回編集委員会

日時：2010 年 5 月 16 日（日）12:10～13:00

場所：日本大学

議題：雑誌送付体制の検討

Vol20, No4 の企画他

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 7 回編集委員会

日時：2010 年 7 月

場所：担当理事都合のためメールでの持ち回り審議

議題：予算案の審議、web 上での業務フローの確認

Vol19, No6 の企画について他

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 8 回編集委員会

日時：2010 年 9 月 10 日（金）18:30～19:30

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 14 号館 1060 室

議題：Vol20, No6 の企画について

著作権規定の整備について他

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 9 回編集委員会

日時：2010 年 10 月 24 日（日）12:10～13:10

場所：福岡工業大学

議題：Vol21, No1 の企画について

予算申請について他

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 10 回編集委員会

日時：2011 年 1 月 21 日（金）18:30～19:40

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 14 号館 1046 室

議題：Vol20, No6 の校正について

Vol21, No3 の企画について

著作権規程の運用について

広告費の取り扱いについて

経営システム賞の推薦について他

第 30 期 経営システム誌編集委員会 第 11 回編集委員会

日時：2011 年 3 月

場所：震災のためメールでの持ち回り審議

議題：Vol21, No2 の企画について

#### 11. JIMA/JABEE 委員会

理 事：椎原正次

委員長：四宮孝史

委 員：荒川幸雄、岸田孝弥、堀江良典

1) 委員会の開催

第 1 回

開催日：平成 22 年 5 月 16 日（日）12:10～13:00

場 所：福岡工業大学

議 題：JIMA/JABEE 委員会による企画

出席者：椎原正次、四宮孝史、岸田孝弥

第 2 回

開催日：平成 22 年 10 月 23 日（土）11:10～12:00

場 所：福岡工業大学

議 題：JIMA/JABEE 委員会による企画

出席者：椎原正次、四宮孝史、岸田孝弥

2) FMES/JABEE の会合記録の確認

3) FMES 経営工学分野審査委員会委員の推薦

4) JABEE 国際審査員の推薦

5) JABEE 認定基準 2012 年度改定案の確認

6) 審査長、審査員、審査オブザーバの各有資格者の確認

7) JABEE の SA 対応について

8) JABEE 分野別要件について

#### 12. 支部委員会

理 事：椎原正次

委員長：三澤哲夫

委 員：伊藤久司、熊谷 敏、関 哲人、長谷川徹也、  
平林直樹、森山弘海

1) 委員会の開催（兼 支部長との懇談会）

第 1 回

開催日：平成 22 年 5 月 15 日（土）12:10～13:00

場 所：日本大学

議 題：今後の大会開催支部の確認  
支部の繰越金と公益事業計画  
一般社団化に伴う支部運営の変更について  
会員名簿について  
支部総会の資料送付について

出席者：椎原正次、三澤哲夫、熊谷 敏、関 哲人、  
平林直樹、森山弘海 10 支部長(含 代理人)

第 2 回

開催日：平成 22 年 10 月 23 日(土) 11:10～12:00

場 所：福岡工業大学

議 題：今後の大会開催支部の確認  
支部運営細則について  
今後の支部運営の予定  
支部運営上の注意点

出席者：椎原正次、三澤哲夫、伊藤久司、熊谷 敏、  
関 哲人、平林直樹 10 支部長(含 代理人)

- 2) 支部運営細則の制定
- 3) 申請書類等の検証(事業計画、決算・予算等)
- 4) 各支部へ割り当てる資金額の検討・理事会への提案
- 5) 支部長の候補者の取りまとめ

### 13. FMES 特別委員会

理 事：椎原正次

委員長：理事兼務

委 員：大場允晶、開沼泰隆、河野宏和

- 1) FMES 代表者会議への出席
- 2) 日本学術会議会員／連携会員の推薦について
- 3) FMES 事務局の引き受けへの対応について

### 14. 新公益法人移行検討特別委員会

理 事：大場允晶

委員長：理事兼務

委 員：開沼泰隆、加藤貞夫、西口宏美、能勢豊一、松丸  
正延、吉本一穂

新公益法人検討委員会担当業務

- 1) 新法人形態への移行の課題の検討
- 2) 理事会への移行ステップ、移行方法の提案
- 3) 新定款、新規則の提案
- 4) 新法人認定申請業務
- 5) 行政書士との申請への対応検討
- 6) 公益認定員会事務局からの質疑回答と修正対応
- 7) 総会での説明

第 2 回

開催日：2010 年 10 月 24 日 (日) 13:00～14:30

場所：九州工業大学 (福岡県・福岡市)

テーマ：公益社団法人認定申請書案の説明

報告者：大場允晶、加藤貞夫

出席者：5 名

業績

- 1) 「新法人移行への対応」(理事会資料)
- 2) 「新法人定款案、新法人公益支出計画案」(理事会資料)
- 3) 「新公益社団法人化認定申請の早期化の件」(理事会資料)
- 4) 「総会議案の作成」
- 5) 「新公益社団法人就任予定役員のリスト」

6) 「公益社団法人認定申請書」

### 5) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当事項なし。

### 6) 契約に関する事項

平成 23 年 3 月 財団法人学会誌刊行センターと「日本経営  
工学会論文誌」および「経営システム」編集発行業務につ  
いて平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31  
日)の代行委託契約を締結した。

平成 23 年 3 月 株式会社国際文献印刷社と学会事務局の  
会員業務、会計業務、理事会運営業務、その他発生する業  
務について平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3  
月 31 日)の代行委託契約を締結した。

### 7) 寄付金に関する事項

平成 22 年 12 月 23 日付で CIE40 実行委員会から 100 万円  
の寄付があった。

### 8) 主務官庁からの連絡事項

平成 22 年 8 月 6 日 平成 22 年度公益法人実地検査の日程  
調整について 回答済  
平成 22 年 9 月 3 日 第 52 回(平成 22 年度)教育・文化  
週間について 回答済  
平成 22 年 9 月 21 日 大臣等交代に伴う兼職状況調査につ  
いて 回答済  
平成 22 年 12 月 1 日 実地検査結果の通知(写)について 回答済  
平成 22 年 12 月 3 日 平成 22 年度特例民法法人概況調査及  
び新しい公益法人制度への円滑な移行に関するアンケート 回答済  
平成 22 年 12 月 3 日 特例民法法人における無報酬役員に  
対する謝金等の調査結果を踏まえた対応について 回答済  
平成 22 年 12 月 14 日 最近の天下り・渡りの実態に関する  
予備的調査(第一弾) 回答済  
平成 23 年 1 月 13 日 平成 22 年度特例民法法人概況調査  
回答済

### 9) その他重要事項

平成 22 年度第 2 回臨時総会以降の新法人化進捗状況  
(2011.5.15 現在)

2011 年 3 月 21 日の平成 22 年度第 2 回臨時総会において  
定款の修正の承認を受けた後、2011 年 4 月 13 日に電子申請  
の補正入力を行い、公益認定委員会に修正した定款等を再  
提出したところ、同委員会から 2011 年 4 月 27 日と 5 月 11  
日(事務局の見落とし)に補正入力の要請が出されたが、いず  
れも軽微な形式修正のため、それぞれ翌日に補正入力を完  
了した。公益認定委員会事務局と行政書士からの情報によ  
り得た公益社団法人認定書交付までの流れ及び認定後の学  
会の対応スケジュールを以下に示す。

【認定書交付までの流れ】

5 月 17 日：事務局審査終了、常勤委員会の議題にかけら  
れる

5 月 26 日：公益認定委員会への諮問

6 月 3 日：公益認定委員会から答申

- 6月 中旬：公益認定書交付（公益社団法人への変更、HP 公示掲載）
- 6月 下旬：公益社団法人設立登記※1（定款附則表示の会長：能勢豊一氏、平成 22 年第 1 回臨時総会決議の 30 期理事諸氏の役員就任）、登記済証明書 2 通の届出（内閣府、文科省）
- 年度途中の移行手続き（決算）※2
- 平成 22 年度文部科学省への報告※3
- 7月 初旬：第 1 回理事会開催（会長(代表理事)、副会長選定、支部長（重要使用人）選定）、理事会議事録へ記載
- 新会長、新理事の登記(第 1 回の理事会議事録添付)

※1【登記等手続き】

- 1) 特例社団法人解散登記（申請書）
- 2) 公益社団法人設立登記（名称変更登記申請書）  
添付書類：監事の就任承諾書、会長名の印鑑証明証（1 通）、公益認定書原本、委任状、会長名印鑑証明証（上記証明証を転用）、前定款、新定款
- 3) 登記済証明書 2 通（内閣府、文科省届出）
- 4) 履歴全部証明書約 10 通
- 5) 総会議事録、代表理事を選任した議事録
- 6) 新役員登記（役員就任承諾書）、新会長名印鑑証明証（1 通）、履歴全部証明書約 10 通
- 7) 新宿税務署、新宿都税事務所、金融機関等へ名称変更、会長（代表）変更届出

※2【年度中途の移行手続き】

- 1) 決算報告
- 2) 事業計画書、収支予算書届出
- 3) 新役員就任報告

※3【平成 22 年度文部科学省への報告】

- 1) 事業報告、収支決算報告
- 2) 実地検査改善報告

Ⅲ. 収支決算報告

(1) 財務諸表

貸借対照表

正味財産増減計算書

財産目録

財務諸表に対する注記

平成 22 年度収支計算書

収支計算書類に対する注記

貸借対照表  
平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	2,638,120	2,423,544	214,576
郵便振替 (年会費)	4,764,466	1,292,506	3,471,960
郵便振替 (大会参加費)	64,860	2,929,700	▲ 2,864,840
定期預金	16,225	6,061,020	▲ 6,044,795
未収収益	1,036,825	964,640	72,185
未収入金	0	30,197	▲ 30,197
立替金	43,214	35,552	7,662
仮払金	0	0	0
流動資産合計	8,563,710	13,737,159	▲ 5,173,449
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	22,000,000	22,000,000	0
基本財産合計	22,000,000	22,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	22,000,000	22,000,000	0
資産合計	30,563,710	35,737,159	▲ 5,173,449
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,210,838	4,224,739	▲ 2,013,901
前受会費	2,946,000	87,000	2,859,000
前受金	28,000	118,900	▲ 90,900
預り金	71,583		
名簿作成引当金	0	0	0
流動負債合計	5,256,421	4,430,639	825,782
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,256,421	4,430,639	825,782
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	25,307,289	31,306,520	▲ 5,999,231
(うち特定資産への充当額)	(22,000,000)	(22,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	25,307,289	31,306,520	▲ 5,999,231
負債及び正味財産合計	30,563,710	35,737,159	▲ 5,173,449

正味財産増減計算書  
(自 平成22年4月1日から 至 平成23年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産利息収入収益	11,474	64,220	▲ 52,746
受取入会金	152,000	208,000	▲ 56,000
受取会費	15,447,000	14,806,350	640,650
受取正会員会費	13,735,000	12,834,350	900,650
受取学生会員会費	512,000	672,000	▲ 160,000
受取賛助会員会費	1,200,000	1,300,000	▲ 100,000
大会収益	4,975,131	3,967,329	1,007,802
春季大会事業収益	2,320,108	1,935,000	385,108
秋季研究大会事業収益	2,655,023	2,032,329	622,694
論文掲載料事業収益	3,605,360	4,087,890	▲ 482,530
論文誌掲載料収益	3,201,350	3,489,120	▲ 287,770
論文誌別刷代収入収益	404,010	598,770	▲ 194,760
広告料収入収益	33,600	42,000	▲ 8,400
寄付金収入	1,000,000	0	1,000,000
60周年事業収益	108,000	0	108,000
その他事業収益	657,510	613,970	43,540
定期雑誌収入収益	544,320	532,980	11,340
バックナンバー収入収益	113,190	80,990	32,200
利息収入収益	1,566	13,317	▲ 11,751
雑収入収益	256,609	598,818	▲ 342,209
その他収入収益	256,609	598,818	▲ 342,209
経常収益計	26,248,250	24,401,894	1,846,356

正味財産増減計算書  
(自 平成22年4月1日から至 平成23年3月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費用	20,903,794	19,034,647	1,869,147
論文誌発行費用	5,436,914	6,048,182	▲ 611,268
論文誌印刷製本費用	3,792,897	3,865,138	▲ 72,241
論文誌別刷印刷費用	180,878	238,741	▲ 57,863
論文誌発送費用	761,267	699,133	62,134
英文号CD-ROM制作費用	701,872	1,045,170	▲ 343,298
英文スタイルファイル費用	0	100,000	▲ 100,000
英文号表紙設計費用	0	100,000	▲ 100,000
経営システム誌発行費用	4,641,125	4,054,735	586,390
経営システム誌印刷製本費用	4,093,966	3,331,565	762,401
経営システム誌発送費用	547,159	723,170	▲ 176,011
大会開催費用	4,656,711	3,774,886	881,825
春季大会事業費用	2,068,113	1,659,498	408,615
秋季研究大会事業費用	2,588,598	2,115,388	473,210
諸事業費用	6,169,044	5,156,844	1,012,200
学術団体分担金費用	122,200	114,400	7,800
表彰費用	169,700	174,855	▲ 5,155
企画(シンポジウム開催)費用	0	11,800	▲ 11,800
支部企画事業補助金費用	1,750,000	1,630,000	120,000
支部交付金費用	1,472,500	1,599,000	▲ 126,500
大会特別交付金費用	159,209	137,751	21,458
研究部会補助金費用	450,000	400,000	50,000
JABEE等会費費用	200,000	300,000	▲ 100,000
会員関係費用	105,000	0	105,000
ホームページ費用	367,500	98,295	269,205
60周年事業費用	1,076,605	3,000	1,073,605
100周年記念事業関係費用	0	687,743	▲ 687,743
人材育成関係費	296,330	0	296,330
管理費	11,343,687	7,282,550	4,061,137
事務委託費用	3,608,957	2,591,685	1,017,272
会員業務費用	2,095,914	1,773,515	322,399
公式文書保存費用	63,000	71,400	▲ 8,400
会合費用	307,641	555,581	▲ 247,940
通信費用	119,061	90,110	28,951
印刷費用	114,678	254,055	▲ 139,377
旅費交通費用	1,433,720	381,018	1,052,702
雑費用	99,556	147,491	▲ 47,935
新事務局委託費初期費用	0	0	0
事務局関係費用	1,398,600	1,398,600	0
租税公課	0	0	0
選挙関係費	855,863	19,095	836,768
公益法人移行準備費用	1,178,447	0	1,178,447
著作権調査費用	68,250	0	68,250
経常費用計	32,247,481	26,317,197	5,930,284
当期経常増減額	▲ 5,999,231	▲ 1,915,303	▲ 4,083,928
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 5,999,231	▲ 1,915,303	▲ 4,083,928
一般正味財産期首残高	31,306,520	33,221,823	▲ 1,915,303
一般正味財産期末残高	25,307,289	31,306,520	▲ 5,999,231
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	25,307,289	31,306,520	▲ 5,999,231

財 産 目 録  
平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金 (三菱UFJ信託銀行上野支店)	1,204,708		
普通預金 (中央三井信託銀行本店営業部)	141,602		
普通預金 (みずほ銀行早稲田支店)	1,291,794		
普通預金 (三菱UFJ銀行吉祥寺支店)	16		
郵便振替 (ゆうちょ銀行：会費振込専用口座)	4,764,466		
郵便振替 (ゆうちょ銀行：大会参加費専用口座)	64,860		
定期預金 (みずほ銀行早稲田支店)	16,225		
未収収益	1,036,825		
立替金	43,214		
流動資産合計		8,563,710	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 (三菱UFJ信託銀行上野支店)	10,000,000		
定期預金 (中央三井信託銀行本店営業部)	10,000,000		
定期預金 (みずほ銀行早稲田支店)	2,000,000		
基本財産合計	22,000,000		
(2) 特定資産			
特定資産合計	0		
(3) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		22,000,000	
資産合計			30,563,710
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,210,838		
前受会費	2,946,000		
前受金	28,000		
預り金	71,583		
流動負債合計		5,256,421	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,256,421
正味財産合計			25,307,289

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,000,000	0	0	22,000,000
小 計	22,000,000	0	0	22,000,000
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	22,000,000	0	0	22,000,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次の通りである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する 額)
基本財産				
定期預金	22,000,000	0	(22,000,000)	0
小 計	22,000,000	0	(22,000,000)	0
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	22,000,000	0	(22,000,000)	0

平成22年度収支計算書  
(自 平成22年4月1日から 至 平成23年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	70,000	11,474	58,526	
入会金収入	200,000	152,000	48,000	
会費収入	16,250,000	15,447,000	803,000	
正会員会費収入	14,200,000	13,735,000	465,000	1,373人
学生会員会費収入	650,000	512,000	138,000	128人
賛助会員会費収入	1,400,000	1,200,000	200,000	24口
大会収入	4,968,000	4,975,131	▲ 7,131	
春季大会収入	2,484,000	2,320,108	163,892	大会委員会会計報告より
秋季研究大会収入	2,484,000	2,655,023	▲ 171,023	大会委員会会計報告より
論文掲載料収入	6,439,000	3,605,360	2,833,640	
論文誌掲載料収入	5,830,000	3,201,350	2,628,650	注1
別刷代収入	609,000	404,010	204,990	
広告料収入	150,000	33,600	116,400	注2
寄付金収入	0	1,000,000	▲ 1,000,000	注3
60周年事業収入	100,000	108,000	▲ 8,000	
その他事業収入	451,540	657,510	▲ 205,970	
定期購読収入	351,540	544,320	▲ 192,780	㈱国際文献印刷社定期発行雑誌販売分
バックナンバー収入	100,000	113,190	▲ 13,190	事務局販売バックナンバー分
利息収入	20,000	1,566	18,434	
雑収入	300,000	256,609	43,391	
その他収入	300000	256,609	43,391	生産管理用語辞典印税、著作権許諾使用料
事業活動収入計	28,948,540	26,248,250	2,700,290	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
2. 事業活動支出				
事業費支出	24,041,156	20,903,794	3,137,362	
論文誌発行費支出	6,862,000	5,436,914	1,425,086	
印刷製本費支出	4,870,000	3,792,897	1,077,103	61巻1～6号
別刷印刷費支出	297,000	180,878	116,122	61巻1～6号(別刷印刷費)
論文誌送費支出	490,000	761,267	▲ 271,267	61巻1～6号、3E号送費(冊数按分48%)
英文号CD-ROM製作費支出	1,085,000	701,872	383,128	61巻3E号
宿泊補助支出	120,000	0	120,000	
経営システム誌発行費支出	4,922,656	4,641,125	281,531	
印刷製本費支出	4,200,000	4,093,966	106,034	20巻1～6号
システム誌送費支出	722,656	547,159	175,497	20巻1～6号送費(冊数按分52%)
大会開催費支出	4,936,000	4,656,711	279,289	
春季大会開催費支出	2,468,000	2,068,113	399,887	大会委員会会計報告より
秋季研究大会開催費支出	2,468,000	2,588,598	▲ 120,598	大会委員会会計報告より
諸事業費支出	7,320,500	6,169,044	1,151,456	
学術団体分担金支出	150,000	122,200	27,800	横幹連合、日本工学会年会費他
表彰費支出	440,000	169,700	270,300	表彰委員会、優秀学生賞他
国際渉外費支出	330,000	0	330,000	注4
企画(シンポジウム開催費)支出	256,000	0	256,000	注5
支部企画事業補助金支出	1,750,000	1,750,000	0	
支部交付金支出	1,458,500	1,472,500	▲ 14,000	
大会特別交付金支出	0	159,209	▲ 159,209	春季大会、秋季大会交付金
研究部会補助金支出	800,000	450,000	350,000	
JABEE等会費支出	300,000	200,000	100,000	
会員関係費	500,000	105,000	395,000	会員検索機能
ホームページ支出	436,000	367,500	68,500	
60周年事業支出	900,000	1,076,605	▲ 176,605	
人材育成関係	0	296,330	▲ 296,330	インターンシップ
管理費支出	10,549,150	11,343,687	▲ 794,537	
事務委託費支出	3,730,350	3,608,957	121,393	㈱国際文献印刷社
会員業務費支出	1,800,000	2,095,914	▲ 295,914	㈱国際文献印刷社
公式文書保存支出	100,000	63,000	37,000	
会合費支出	620,200	307,641	312,559	理事会、委員会会議費
通信費支出	300,000	119,061	180,939	メール便他
印刷費支出	500,000	114,678	385,322	コピー等
旅費交通費支出	900,000	1,433,720	▲ 533,720	理事会旅費
雑費支出	100,000	99,556	444	振込手数料他
事務局関係費支出	1,398,600	1,398,600	0	
租税公課支出	0	0	0	
選挙関係費支出	600,000	855,863	▲ 255,863	
公益法人移行準備費支出	300,000	1,178,447	▲ 878,447	注6
著作権調査費用支出	200,000	68,250	131,750	
事業活動支出計	34,590,306	32,247,481	2,342,825	
事業活動収支差額	▲ 5,641,766	▲ 5,999,231	357,465	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	▲ 5,641,766	▲ 5,999,231	357,465	
前期繰越収支差額	9,306,530	9,306,520	10	
次期繰越収支差額	3,664,764	3,307,289	357,475	

注1 掲載論文数が予算の見積りを下廻った為。

注2 契約広告数が予算計上時を下廻った為。

注3 CIE40よりの寄付金。

注4 予算行事の中止による。

注5 予算行事の中止による。

注6 公益認定法人対策費。

## 収支計算書類に対する注記

### 1. 資金の範囲について

資金の範囲には、普通預金、郵便振替、定期預金、未収収益、未収入金、立替金及び未払金、前受会費、前受金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金（本部事務局）	2,423,544	2,638,120
郵便振替（年会費）	1,292,506	4,764,466
郵便振替（大会参加費）	2,929,700	64,860
定期預金	6,061,020	16,225
未収収益	964,640	1,036,825
未収入金	30,197	0
立替金	35,552	43,214
合 計	13,737,159	8,563,710
未払金	4,224,739	2,210,838
前受会費	87,000	2,946,600
前受金	118,900	28,000
預り金	0	71,583
合 計	4,430,639	5,256,421
次期繰越収支差額	9,306,520	3,307,289

## 監査報告書

社団法人 日本経営工学会  
会長 能勢 豊一 殿

作成日 平成 23 年 4 月 14 日

監事 高橋 勝彦   
監事 松丸 正延 

監査対象期間 平成 22 年 4 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日まで

### 監査事項

社団法人 日本経営工学会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律及び当学会定款第 17 条にもとづく、上記期間の会計監査及び業務監査

### 会計監査の結果

会計帳簿および期末財務諸表につき一般に認められた会計監査の基準にしたがって照合実査その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- ① 収支計算書は、公益法人会計基準のフォーマットに合わせて作成されている。
- ② 財産目録および貸借対照表に記載の諸資産が正しく保全され正確な会計処理がなされている。
- ③ 会計帳簿・伝票等・会計関係書類一式が、適正に保管され正確な会計処理がなされている。

### 業務監査報告

理事の業務執行状況を監査するため、理事会に出席するとともに、理事から業務執行の状況を聞き、重要な決済書類を閲覧し、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- ・ 理事の業務執行は合法適正に行われ、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はない。

### 監事の意見

上記監査結果にもとづき監事は財務諸表が当学会の収支状況および財務状態を適正に表示しており、且つ理事の業務執行は適正に行われているものと認める。

22年度社員（会員）異動状況報告書  
 （平成23年3月31日現在）

23年3月末社員数 116  
 22年3月末社員数 117  
 増減数-1

支部	正会員	正会員 (賛助代表)	学生会員	賛助会員	名誉会員	支部計
北海道	16	0	0	0	0	16
東北	40	0	7	1	0	48
北関東	88	0	13	0	0	101
東関東	90	0	24	1	2	117
西関東	560	3	111	8	16	698
中部	128	2	9	6	0	145
北陸	46	0	18	0	0	64
関西	243	2	38	6	4	293
中・四	103	2	14	2	1	122
九州	59	0	4	1	0	64
海外	7	0	0	0	0	7
合計	1,380	9	238	25社/24口	23	1,675
前年度末	1,464	10	287	27社/26口	22	1,777
増減	-84	-1	-49	-2社/-2口	+1	-102

## 第二号議案 平成23年度事業計画及び 収支予算の件

### I. 事業計画

#### (1) 研究発表会、講演会の開催（定款5条1号）

平成23年度は研究発表会を2回開催する。

春季大会

日 時 5月28日（土）～29日（日）

場 所 愛知学院大学

テーマ 「グローバルなものづくりと危機管理」

大会組織委員長 飯島正樹

秋季研究大会

日 時 11月12日（土）～13日（日）

場 所 岩手県立大学

テーマ 「クラウド時代の経営工学」

大会組織委員長 菅原光政

#### (2) 学会誌、その他の刊行物の発行（定款5条2号）

日本経営工学会論文誌「Journal of Japan Industrial Management Association」

Vol.62 No.1～No.6, No.3E, No.6E を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年4月15日	62	1	1,800
平成23年6月15日	62	2	1,800
平成23年8月15日	62	3, 3E	1,800
平成23年10月15日	62	4	1,800
平成23年12月15日	62	5	1,800
平成24年2月15日	62	6, 6E	1,800

経営システム「Communications of JIMA」Vol.21 No.1～No.6 を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年4月15日	21	1	2,100
平成23年6月15日	21	2	2,100
平成23年8月15日	21	3	2,100
平成23年10月15日	21	4	2,100
平成23年12月15日	21	5	2,100
平成24年2月15日	21	6	2,100

#### (3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款5条3号）

学会賞（学術）、学会賞（功労）、論文賞、論文奨励賞、特別賞（経営システム賞、経営工学実践賞、優秀学生賞）を選考し、理事会に推薦する。

#### (4) 調査、研究、見学及び視察（定款5条4号）

平成22年度の事業を踏襲し、引き続き支部、研究部会で活動を行う。

#### 各支部

各支部ごとに研究会・講演会・見学会等を企画し開催する。

#### (5) 内外の関連機関との連携及び交流（定款5条5号）

- 1) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への協力と情報発信
- 2) 経営工学関連組織（日本IE協会・日本技術士会等）

との連携行事活動と情報発信

- 3) 本学会への協賛・共催への対応とホームページでの案内・周知
- 4) 経営工学に関連する国際会議のJIMAホームページ上の会員向け案内の継続
- 5) IFPR(ICPR)の情報提供促進
- 6) APIEMSの情報提供促進
- 7) 日本技術士会とのCPD活動等における連携促進

#### (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款5条6号）

特になし

### II. 会議に関する事項

#### (1) 通常総会

平成23年5月28日（土）（年1回）開催予定。

#### (2) 理事会

平成23年7月、9月、11月、平成24年1月、3月、5月（年6回）開催予定。

#### (3) 各種委員会

##### 1. 庶務委員会

年4回程度の委員会、および随時メール審議を開催し、以下の事項を検討及び実行する。

- 1) (公益) 社団法人日本経営工学会の規程類の整備
- 2) ホームページの改正（日本語版）、英語版の作成
- 3) 社員総会の運営

##### 2. 研究委員会

年4回程度の委員会を開催し、研究部門制導入、運営、および発展を推進する。

##### 3. 日本経営工学会論文誌編集委員会

年11回程度の委員会を開催し、日本経営工学会論文誌の発行を推進する。

##### 4. 企画・行事委員会

経営工学ビジョン等策定を推進する。

##### 5. 会員委員会

(1) HPに賛助会員のページをつくり、各企業のHPのリンクを貼る。

できればトップページのバーナーも検討する。

(2) 賛助会員向けイブニングセミナーの開催

年2, 3回を予定

第1回は6月頃東京で開催、西関東支部と共催

第2回は11月頃大阪で開催、関西支部と共催、関西支部主催の工場見学と同日開催

第3回は3月頃東京で開催

(3) 女性会員向けシンポジウムの開催

女性会員数名をお願いしてパネルディスカッション&懇親会。特に女性大学院生に声をかける。

「経営工学レディのキャリアプランを考える～これが私の生きる道～」

- (4) 会員データベース検索システム構築  
論文誌編集委員会用および支部委員会用

#### 6. 財務委員会

- 1) 監査会
- 2) 四半期毎の伝票検査と試算表の確認
- 3) 予算案の編成
- 4) 法人化移行時における計算書類等の検討
- 5) 公益法人会計への対応

#### 7. 調査委員会

平成 22 年度に引き続き、HP リニューアルに向けて、会員のニーズ調査と最適システム設計のための技術動向の調査を行う。

#### 8. 大会委員会

年 4 回の委員会を開催し、春秋 2 回の研究発表会、講演会等の円滑な推進を図る。

#### 9. 表彰委員会

年間 3～4 回の委員会を開催し、学会賞、論文賞、論文奨励賞、特別賞の各候補の推薦方法を検討し、各賞受賞候補者(案)を決定し、理事会に諮る。

#### 10. 国際・渉外委員会

- 1) 経営工学に関連する国際会議の JIMA ホームページ上での会員向け案内の継続
- 2) 日本経営工学会に対する協賛・共催依頼への対応と国内での協賛・共催学会のホームページでの案内・周知
- 3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への積極的参画と JIMA からの情報の提供・発信
- 4) APIEMS 活性化への協力・支援、特に年次大会の周知徹底および IEMS ジャーナルへの論文投稿と定期購読体制の構築
- 5) IFPR(ICPR)および IFPR-APR の情報提供促進ならびに事業企画支援
- 6) (社)日本技術士会、IE 協会との連携活動支援策活動の継続
- 7) 経営システム誌への国際会議報告掲載

#### 11. 人材育成委員会

学生インターンシップ事業を推進する。

#### 12. 経営システム誌編集委員会

年間 6 冊の発行を推進する。

CiNii 等学術データベースでの論文公開事業の促進

#### 13. 支部委員会

- 1) 委員会の開催(兼 支部長との懇談会)
- 2) 各支部の事業計画と支部に割り当てる資金・企画行事の検討
- 3) 支部長との懇談会による支部活動の活性化支援
- 4) 公益法人化に伴う支部の運営方法に関する検討

#### 14. JIMA/JABEE 委員会

年 2 回程度の委員会の開催と FMES/JABEE からの依頼事項についての検討

#### 15. FMES 特別委員会

- 1) FMES 代表者会議への出席
- 2) FMES 事務局の引き受けへの対応

#### Ⅲ. 収支予算

収入の部

支出の部

平成 23 年度予算書

平成23年度予算書(案)  
(自 平成23年4月1日から 至 平成24年3月31日)

(単位:円)

科 目	予算案	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	70,000	70,000	0
入会金収入	184,000	200,000	▲ 16,000
会費収入	16,220,000	16,250,000	▲ 30,000
正会員会費収入	14,234,000	14,200,000	34,000
学生会員会費収入	636,000	650,000	▲ 14,000
賛助会員会費収入	1,350,000	1,400,000	▲ 50,000
大会収入	4,968,000	4,968,000	0
春季大会収入	2,484,000	2,484,000	0
秋季研究大会収入	2,484,000	2,484,000	0
論文掲載料収入	4,340,950	6,439,000	▲ 2,098,050
論文誌(紙媒体)	3,809,700	5,830,000	▲ 2,020,300
別刷代収入(論文誌)	531,250	609,000	▲ 77,750
広告料収入	150,000	150,000	0
高校生向け経営工学テキスト	2,000,000	0	2,000,000
ビジョンシンポジウム	150,000	0	150,000
60周年事業収入	0	100,000	▲ 100,000
その他事業収入	422,000	451,540	▲ 29,540
定期購読収入	372,000	351,540	20,460
バックナンバー収入	50,000	100,000	▲ 50,000
利息収入	10,000	20,000	▲ 10,000
雑収入	300,000	300,000	0
その他収入	300,000	300,000	0
事業活動収入合計	28,814,950	28,948,540	▲ 133,590

(単位：円)

科目	予算案	前年度予算額	増減
2. 事業活動支出			
事業費支出	22,136,734	24,041,156	▲ 1,904,422
論文誌発行費支出	5,813,534	6,862,000	▲ 1,048,466
印刷製本費支出	3,931,364	4,870,000	▲ 938,636
別刷印刷費支出	371,000	297,000	▲ 74,000
論文誌送費支出	466,000	490,000	▲ 24,000
英文号CD-ROM製作支出	1,045,170	1,085,000	▲ 39,830
宿泊補助支出	0	120,000	▲ 120,000
経営システム誌発行費支出	4,784,200	4,922,656	▲ 138,456
印刷製本費支出	4,200,000	4,200,000	0
システム誌送費支出	430,000	722,656	▲ 292,656
宛名シール印刷代	154,200	0	▲ 154,200
大会開催費支出	4,936,000	4,936,000	0
春季大会開催費支出	2,468,000	2,468,000	0
秋季研究大会開催費支出	2,468,000	2,468,000	0
諸事業費支出	6,603,000	7,320,500	▲ 717,500
学術団体分担金支出	150,000	150,000	0
表彰費支出	410,000	440,000	▲ 30,000
国際渉外費支出	30,000	330,000	▲ 300,000
企画（シンポジウム開催費）支出	0	256,000	▲ 256,000
支部企画事業補助金支出	1,400,000	1,750,000	▲ 350,000
支部交付金支出	1,413,000	1,458,500	▲ 45,500
研究部会補助金支出	900,000	800,000	▲ 100,000
JABEE等会費支出	300,000	300,000	0
会員関係費支出	480,000	500,000	▲ 20,000
行事（ショートコース開催費）支出	368,000	0	▲ 368,000
ホームページ関係費支出	500,000	436,000	▲ 64,000
60周年事業費支出	0	900,000	▲ 900,000
人材育成関係費支出	652,000	0	▲ 652,000
管理費支出	8,317,966	10,549,150	▲ 2,231,184
事務局関係費支出	233,100	1,398,600	▲ 1,165,500
事務委託費支出	3,817,086	3,730,350	▲ 86,736
会員業務費支出	1,800,000	1,800,000	0
公式文書保存支出	180,000	100,000	▲ 80,000
会合費支出	477,780	620,200	▲ 142,420
通信費支出	250,000	300,000	▲ 50,000
印刷費支出	400,000	500,000	▲ 100,000
旅費交通費支出	960,000	900,000	▲ 60,000
雑費支出	100,000	100,000	0
租税公課支出	0	0	0
選挙関係費支出	0	600,000	▲ 600,000
公益法人移行準備費支出	100,000	300,000	▲ 200,000
著作権調査費用支出	0	200,000	▲ 200,000
事業活動支出計	30,454,700	34,590,306	▲ 4,135,606
事業活動収支差額	▲ 1,639,750	▲ 5,641,766	4,002,016
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	▲ 1,639,750	▲ 5,641,766	4,002,016
前期繰越収支差額	3,307,289	9,306,520	▲ 5,999,231
次期繰越収支差額	1,667,539	3,664,754	▲ 1,997,215

平成23年度収支予算(損益計算ベース)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	70,000	0	70,000
受取入金	92,000	92,000	184,000
正会員	58,000	58,000	116,000
学生会員	34,000	34,000	68,000
受取会費	8,110,000	8,110,000	16,220,000
受取正会員会費	7,117,000	7,117,000	14,234,000
受取学生会員会費	318,000	318,000	636,000
受取団体賛助会員会費	675,000	675,000	1,350,000
事業収益	12,330,950	0	12,330,950
大会収益	4,968,000	0	4,968,000
論文誌収益	4,340,950	0	4,340,950
広告料収益	150,000	0	150,000
経営工学テキスト収入収益	2,000,000	0	2,000,000
ビジョンシンポジウム収入収益	150,000	0	150,000
その他事業収益	722,000	0	722,000
定期購読収益	372,000	0	372,000
バックナンバー収益	50,000	0	50,000
雑収益	300,000	0	300,000
利息収益	5,000	5,000	10,000
経常収益計	20,607,950	8,207,000	28,814,950

(2) 経常費用	事業会計	法人会計	合計
臨時雇賃金	622,780	233,100	855,880
旅費交通費	1,418,610	960,000	2,378,610
会議費	449,340	477,780	927,120
通信運搬費	1,438,450	250,000	1,688,450
事務消耗品費	465,540	180,000	645,540
印刷製本費	11,512,634	400,000	11,912,634
賃借料	531,320	0	531,320
諸謝金	1,405,910	0	1,405,910
記念品費	420,650	0	420,650
広報費	694,770	0	694,770
年会費	450,000	0	450,000
シンポジウム費	30,000	0	30,000
委託費	2,500,000	5,717,086	8,117,086
雑費	196,730	100,000	296,730
租税公課	0	0	0
経常事業費計	22,136,734	8,317,966	30,454,700
当期収支差額	-1,528,784	-110,966	-1,639,750
当期一般正味財産増減額			-1,639,750
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			

## 第三号議案 名誉会員推戴の件

### 名誉会員推薦細則

JS 3-5-2

社団法人 日本経営工学会

- 第1条 定款第6条に定めるものの他は、本細則にもとづいて行う。
- 第2条 名誉会員候補者は、3月末時点において70歳以上で、本細則第3条のいずれかに該当する人とする。
- 第3条 前会長または元会長
- 2 副会長、理事および監事の各1期を5点、4点および2点、支部長の任期1期を2点、委員長の各1期を1点とし、合計10点以上の人、ただし、期末満の場合には繰り上げとする。
  - 3 その他、上記に準じると理事会が認めた人。
- 第4条 本細則第3条にもとづき、会員委員会は候補者名簿を作成し、理事会に報告する。理事会はこれを検討の後、候補者案をまとめて、総会に提案する。総会は、この候補者を定款第6条に基づき審査し、推薦を議決する。
- 2 名誉会員候補者に対しては、理事会承認後、会長名の文書で名誉会員候補者に推薦された旨を伝え、総会授賞式への出席を求め、他の名誉会員と同様に大会への無料招待状を送り、名誉会員推戴が議決された総会開催年度以降の年会費を無料とする。
- 第5条 名誉会員推戴書は付図1の書式による。

上記推薦細則に基づき、会員委員会、理事会で審議の結果、本会正会員の

**大崎紘一氏、大野勝久氏、住吉和司氏、佃純誠氏**

を名誉会員として推戴したい。

第四号議案 新役員選任の件

役員選挙結果

役職名	氏名	所属	得票数
会長	大成 尚	早稲田大学	409

理事	河野宏和	慶應義塾大学	305
	水山 元	京都大学	284
	高橋勝彦	広島大学	275
	後藤正幸	早稲田大学	261
	開沼泰隆	首都大学東京	245
	中島健一	神奈川大学	225
	斎藤 文	産業能率大学	212
	中出康一	名古屋工業大学	210
	椎原正次	大阪工業大学	178
	八木英一郎	東海大学	145
	野渡正博	玉川大学	122
	渡部順一	東北工業大学	96
	金子勝一	山梨学院大学	92

幹事	曹 徳弼	慶應義塾大学	296
	玉木欣也	青山学院大学	285
	松丸正延	東海大学	176

会長指名理事

理事	荒井良尚	日立国際電気
	石井和克	金沢工業大学
	吉本一穂	早稲田大学
	葛山康典	早稲田大学

代議員選挙結果

(29名)

No.	氏名	(所属)	支部
1	伊呂原隆	(上智大学)	西関東
2	大野高裕	(早稲田大学)	西関東
3	平川保博	(東京理科大学)	東関東
4	関 庸一	(群馬大学)	北関東
5	皆川健多郎	(大阪工業大学)	関西
6	森川克己	(広島大学)	中国四国
7	藤田勝康	(北海道工業大学)	北海道
8	山本久志	(首都大学東京)	西関東
9	松林伸生	(慶應義塾大学)	西関東
10	郭 偉宏	(秋田県立大学)	東北
11	伊藤 雅	(愛知工業大学)	中部
12	山田哲男	(東京都市大学)	西関東
13	片山直登	(流通経済大学)	東関東
14	楠川恵津子	(大阪府立大学)	関西
15	鈴木 淳	(高崎経済大学)	北関東
16	森澤和子	(大阪府立大学)	関西
17	熊谷 敏	(青山学院大学)	西関東
18	横山真一郎	(東京都市大学)	西関東
19	宋 相載	(広島工業大学)	中国四国
20	岸田孝弥	(中京大学)	中部
21	田中信悟	(新日本製鐵(株)八幡製鐵所)	九州
22	船木謙一	(株)日立製作所	西関東
23	中川慶一郎	(株)NTT データ	西関東
24	須田正毅	(富士ゼロックス(株))	北関東
25	島津忠司	(日本アイ・ビー・エム(株))	関西
26	四宮孝史	(株)ニコン	西関東
27	板垣宏明	(ダイキン情報システム(株))	関西
28	中村 肇	(株)三菱総合研究所	西関東
29	長谷川欽一	(PEK 長谷川技術士事務所)	中部

## 第五号議案 会費滞納者権利停止・除名予告の件

◎会員権停止・除名予告者一覧（1年間：2010年度 正会員：59名 学生会員：63名）

下記の会員権停止・除名予告者については定款第11条および会員規定第12条により、

(1)2011年9月末日までに会費未納の場合は、会員の権利を2012年1月末日まで停止する。

(2)2012年1月末日までに会費未納の場合は、除名とする。

### 正会員 59名

野尻 秀之	狭間 雅義	松本 彪	高瀬 義道	山田 拓行	關 豊
上浦 基	小島 工	亀掛川 雅章	中原 陽三	二石 芳裕	田辺 孝二
脇田 淳一	廣瀬 幹好	吉田 照彦	盛岡 良雄	河合 清博	多田 実
遠藤 敬一	小路 和幸	堂本 君恵	大澤 幸夫	竹内 貞雄	石原 恵子
溝口 泰弘	西尾 雅年	上田 純郎	西崎 雅仁	白井 久雄	黒田 光男
井上 萌	竹田 勝一	新井 宏尚	大久保 堯夫	大野 実	野口 幸雄
角田 真規	前原 啓二	柴田 国夫	佐久間 敏行	柳下 和夫	槇塚 忠穂
石田 智也	太田 英二郎	棟田 高行	十河 哲也	永井 康幸	斎藤 知也
小松 岳人	栗原 修造	松田 文字	藤原 拓	阿部 克己	井上 文彦
青木 克哉	黄 海	三宅 香織	山川 あす香	Tsung-Chieh, Tsai	

### 学生会員 63名

高越 規嗣	田邊 和大	篠田 裕介	満 作才	山中 涼輔	小峰 直也
飯塚 浩司	桑山 智彦	清水 慎二	木村 啓介	丸國 翔	中野 類王
田村 正樹	神島 尚浩	大下 祐輝	武田 勇次郎	宇野 由宏	中野 有敬
蔵澄 亨	片平 悦史	正木 慶太郎	三上 彩	北島 佳典	磯部 祐紀
鈴木 拓哉	小倉 洋計	尾山 雄一	安田 駿一郎	浜田 康平	益満 崇
埴和 直樹	北村 浩之	川下 隆司	各務 知行	安藤 盛洋	高尾 祥平
田村 崇	山本 裕太郎	高橋 浩一	中野 敬太	葛西 翔太	佐藤 佑紀
庄司 大亮	高橋 雄一郎	吉濱 祐介	橋本 佳弘	松山 裕希	牟田口 貴男
馬 欣	鈴木 康祐	村田 潤一	石橋 政人	久田 大良	川上 晃弘
薛 ゆうこ	佐々木 智一	賀治 明日香	三澤 大樹	佐藤 知史	田中 史弥
山本 隆広	塚本 健二	張 崢光			

第六号議案　その他

(1) 著作権規則制定の件

（目的）

第1条 本規則は、公益社団法人日本経営工学会（以下、「本学会」という。）を介して公表される編集著作物及び個別の著作物に関する著作権の取扱いに関して取り決めることを目的とする。

（用語の定義）

第2条 本著作物とは、本学会を介して公表される編集著作物及び個別の著作物であって、著作権法第2条第1項第1号に定めるものをいう。

2. 本規則における著作権とは、著作権法第21条から第28条までに規定する権利をいう。

3. 本著作者とは、本著作物を創作した者であって、著作権法第2条第1項第2号で定める者をいう。

（著作権の帰属）

第3条 本著作物の著作権（以下「本著作権」という。）は、国内外の別を問わず、原則として、第5条第1項に基づき、本学会に帰属する。

2. 本著作者は、本著作権を本学会に帰属させることができないという特別な事情がある場合、本著作物の投稿または寄稿時に、その旨を本学会あてに申し出るものとする。その場合の本著作権の取扱いについては、本著作者と本学会との間で協議の上措置する。

第4条 経営システム誌に掲載が予定される著作物については、第3条の適用はなく、本著作者は本学会に対して本著作物の一切の利用を許諾するものとする。本条に係る本著作物の利用契約は、本著作者が、本規則の内容を確認し、著作物利用許諾書に必要事項を記入し、署名したものを本学会が受領した段階で成立するものとする。

（著作権の譲渡）

第5条 本著作者から本学会への本著作権の譲渡は、本著作者が、本規則の内容を確認し、著作権譲渡書に必要事項を記入し、署名したものを本学会が受領した段階で成立するものとする。

2. 本学会が著作権譲渡書を既に受領している本著作物が、本学会発行の論文誌等に掲載不可となった場合、あるいは本著作者が本著作物の本学会発行の論文誌等への掲載を辞退した場合には、その時点で本学会が保有する本著作物の本著作権を本著作者に対して帰属させる。

3. 第5条第1項の譲渡の対価は、別に定める合意がなき限り、無償とする。

（著作者人格権の不行使）

第6条 本著作者は、本著作物について、本学会と本学会が利用許諾する者に対して、以

下の場合、著作権者人格権を行使しない。

- 1) 翻訳およびこれに伴う改変
  - 2) 要約に伴う改変
  - 3) その他の改変
2. 本学会は、前項各号の改変について、本著作権者の名誉を損なうことのないよう十分に留意するものとする。

(著作物の利用の許諾)

- 第7条 本著作権者が、私的使用の目的のために、本著作権者にかかる本著作物の全部または一部を著作権法第30条の範囲内で利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。
2. 本著作権者が、私的使用以外の目的のために、本著作権者自身の本著作物の全部または一部を利用する場合には、非営利目的であり、本学会の利益を不当に侵害しない限りにおいて、本学会の許諾を必要としないものとする。営利目的を有する場合には原則として事前に、別に定める著作物利用許諾申請書に従って、本会の利用許諾を得なければならない。
  3. 前項第2文の利用においては、原則としてその利用態様を可能な限り明らかにしなければならない。
  4. 本著作権者以外の者が、本著作物の全部または一部を利用する場合には、本学会の許諾を得なければならない。
  5. 前項の許諾は、本著作権者の承諾を得ずにすることができる。

(著作権者の責任)

- 第8条 本学会が本著作権を有する本著作物の内容については、本著作権者が創作に關与した部分については、本著作権者自身が一切の責任を負うものとする。
2. 本学会が本著作権を有する本著作物に關し、他人から著作権侵害として提訴され、もしくは当該侵害に關し紛争が生じた場合、あるいは他人の名誉を傷つける等の紛争が生じた場合には、本著作権者が創作に關与した部分については、原則として、本著作権者は、その解決のために本学会に協力しなければならない。
  3. 本著作権者は、前項の紛争により本学会に損害（弁護士費用、学会関係者の日当、交通費など）が生じた場合には、本学会に対して、本学会の受けた損害を賠償する責を負う。

(著作権侵害)

- 第9条 本学会および本著作権者は、第三者による本著作権の侵害の疑いのある事実を発見したときは、速やかに相手方にその旨を通知するものとする。
2. 第三者による本著作権の侵害があったときは、本学会と本著作権者との協議の上、その対応を決定するものとする。
  3. 前項にかかわらず、本学会は単独で、その対応を決定することができる。

(例外的取り扱い)

- 第10条 本学会と他の学会等との協同活動による著作物の取り扱いについて、著作権に

ついて別段の定めがある場合、本規則に優先してこれに従う。

2. 本学会を介して公表される編集著作物及び個別の著作物については、著作者が本学会員でない場合であっても本規則を適用するものとし、著作者は本規則を遵守しなければならない。

(既発行の著作物の取扱い)

第11条 本規則の施行以前に、本学会を介して公表された編集著作物及び個別の著作物についても、本規則を適用するものとする。ただし、本著作者から別段の申し出があり、本学会が当該申し出について正当な事由があると認めた場合、本学会と本著作者の協議により本著作権の帰属を決定することができる。

2. 前項の申し出は、本規則実施日より12ヶ月以内にしなければならない。

(規則の改廃)

第12条 本規則の改廃は総会の議決によって行い、経営システム誌に公示する。

(管轄)

第13条 本規則の準拠法は日本法とし、本規則に関する訴えは東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。調停、仲裁等についても同様とする。

## 附 則

1. 本著作物には、以下のものを含む。

~~日本経営工学会論文誌、経営システム誌、大会予稿集、研究大会予稿集、原著論文、研究速報、記事(速報、レビュー、論説、解説、資料、文献紹介、論文紹介、会告、報告、ニュース・声、編集後記等)、原稿、講演~~

2. 本規則にいう著作物の公表は、以下によるものを含む。

- 1) 印刷刊行物による公表
- 2) 電子情報による公表(CD-ROM等の記録媒体に限らず、オンラインによる提供形式も含む。)
- 3) 講演会等による公表
- 4) その他の手段による公表

3. 本規則に規定されていない事項に関しては、著作権法に拠る。

4. 本規則は、本学会総会の議決があった日から施行し、平成 年 月 日より実施する。





社団法人 日本経営工学会